

平成30年2月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(平成30年度当初予算関係)

観光交流局

*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額
「前年度」の欄は今年度の当初予算額
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成30年2月定例会 議案説明資料目次

観光交流局

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件名	課名等	頁
第 1 号	平成30年度鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表)	1
		観光戦略課	2
		交流推進課	54
		まんが王国官房	66
	2 歳入歳出事項別明細書		72
	3 節の明細		74
	4 債務負担行為に関する調書	観光戦略課他	77

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫 支出金	起債	その他	一般財源	
観光戦略課	1,903,070	1,851,417	51,653	164,303	58,000	193,983	1,486,784	
交流推進課	423,695	431,974	△8,279	8,000		46,137	369,558	
まんが王国官房	162,888	161,571	1,317			6,296	156,592	
合計	2,489,653	2,444,962	44,691	172,303	<42,400> 58,000	246,416	2,012,934	県費負担額 2,055,334

平成30年度の主な事業

(観光戦略課)

- ・「空の駅」化による観光誘客促進事業 32,000千円
- ・「ぐるっと山陰」誘客促進事業 49,500千円
- ・旅情あふれる「鳥鉄の旅」創造事業 27,767千円
- ・世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業 34,000千円
- ・「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」創造事業 10,423千円
- ・宿泊施設魅力アップ事業 15,000千円
- ・(新) シンガポール市場誘客事業 9,000千円
- ・台湾市場誘客事業 10,000千円
- ・(新) 東京オリンピック・パラリンピック及び
ラグビーワールドカップを活用した誘客促進事業 2,000千円
- ・東アジア地方政府観光フォーラム総会開催事業 23,000千円

(中部総合事務所)

- ・(新) フラダンス全国大会開催支援事業 3,000千円

(西部総合事務所)

- ・伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業 183,079千円

(交流推進課)

- ・(新) 「2018台中国際花の博覧会」参加事業 13,069千円

(まんが王国官房)

- ・まんが・アニメツアーリズム推進事業 33,419千円

注) 起債額の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。県費負担額は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

観光戦略課 (内線: 7639)

2 目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	120,867	114,944	5,923				120,867	
トータルコスト	122,456千円 (前年度 116,534千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、指定管理料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等							
工程表の政策目標(指標)	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>夢みなとタワーの管理運営を指定管理者により実施する。</p> <p>(1) 指定管理者: 一般財団法人鳥取県観光事業団</p> <p>(2) 指定期間: 平成26年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>(3) 指定管理料総額: 566,430千円</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 指定管理料 113,286千円</p> <p>(2) 指定管理候補者選定委員会開催 (委員報酬) 81千円 平成31年3月に指定管理期間の終期を迎えるにあたり、平成30年度内に指定管理候補者の選定を行うため、外部有識者で構成する選定委員会を開催する。</p> <p>(3) (新) 「みなとまち商店街」運営委託 7,500千円 夢みなとタワー内で物産観光センターの役割を果たしている「みなとまち商店街」(運営: 境港市(境港観光協会に委託))の運営費について、商店街設置から20年経過後は、県も「みなとまち」商店街」運営費の1/2相当額以下を負担するという平成10年5月15日付けの協定に基づき、運営委託料の一部を負担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料の額 7,500千円 ・支払の相手方 境港市 								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課 (内線：7099)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「空の駅」化による観光誘客促進事業	32,000	28,500	3,500	11,350			20,650	
トータルコスト	32,795千円 (前年度 29,295千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	国内航空便の誘致、利用促進							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

鳥取砂丘コナン空港における国内・国際線ターミナルビルの一体化、空港と鳥取港を結ぶ連絡道路の開通等を契機に更なる県内発着航空便の利用促進を図るため、ツインポートの特色を活かした二次交通対策や利便性向上など観光誘客に向けた取組を実施する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	内容
①ツインポートの情報発信	5,600	(1) 空港連絡バスラッピング掲出料等PR経費 (2) 空港案内機能強化 ・鳥取空港に観光・二次交通案内等を行うスタッフ配置(土日祝、夏休み等2名配置)
②「空の駅」や「ツインポート」を活かした航空便利用促進	5,900	(3) 早朝便おもてなし事業 ・鳥取ならではの朝食をワンコイン(500円)で提供 (4) 鳥取空港への外国人観光誘客【新規】 ・ANAグループとの連携による首都圏在住・滞在の欧米人をターゲットにした旅行商品造成支援
③ツインポートを活かした観光体験メニュー開発	600	(5) 鳥取空港ならではの体験メニュー開発【新規】 ・空港や港を活かした体験メニューの開発を支援 (例：滑走路での「星空観察会」、船上から飛行機の離発着を眺めるアンダージェット体験など)
④二次交通の充実	19,900	(6) 空港周遊バス支援 ・空港と鳥取港、鳥取砂丘を結ぶ周遊バスの運行支援(土日祝、3往復) (7) 空港レンタカー助成 ・県内両空港の航空利用者に対するレンタカー割引の実施(基本3,000円、外国人最大10,000円) (8) 鳥取空港ー鳥取港間の移動手段導入実験【新規】 ・空港と鳥取港間の手軽な移動手段(レンタサイクル等)の導入に向けた実証実験
合計	32,000	

※他課要求の「空の駅」化に向けた関連事業

- ・ツインポート加速化促進事業(空港港湾課)：6,989千円
- ・鳥取砂丘コナン空港グランドオープン関連改修事業(空港港湾課)：57,151千円
- ・空港ターミナル周辺施設整備事業(空港港湾課)：70,650千円
- ・まんが王国コナンで誘客促進事業(まんが王国官房)：10,000千円※該当部分の事業費
- ・「空の駅」×「食のみやこ鳥取県」賑わい創出事業(食のみやこ推進課)：2,000千円

3 これまでの取組状況、改善点

これまで地元官民が一体となって、航空便の利用促進、空港機能の強化、二次交通対策等の取組を継続的に実施してきた結果、平成29年度の鳥取・米子～羽田便の利用実績は、過去最高の実績で推移している。

特に、鳥取空港では、羽田発着枠政策コンテストの結果、取組や実績が評価され、平成32年3月まで5便化の継続が認められた。

今後も新規路線の就航を含めた両空港の航空路線の充実に向けて、空港利用圏域の拡大や新たな利用者層の開拓など更なる取組が必要である。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光戦略課 (内線: 7099)

3目 交通対策費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新たな航空旅客創出事業	34,000	43,800	△9,800				34,000	
トータルコスト	38,767千円 (前年度 48,569千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	国内航空便の誘致、利用促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内両空港を発着する航空路線の維持拡充や新規国内路線の誘致を図るため、他空港や航空会社と連携して、新たな旅客の開拓を図り、国内航空便の利用拡大につなげる。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
①他空港と連携した需要拡大	3,500	(1) 但馬圏域の利用拡大に向けた取組 ・但馬地域在住者への小児運賃助成 (最大1万円、県内小児運賃は全額無料) ・但馬地域と連携した首都圏での利用促進PR (2) 山陰地域の他空港と連携した需要拡大 ・山陰の他空港と連携した山陰周遊観光を促進させる取組(首都圏PR、旅行商品造成、周遊キャンペーン等)
②全日空と連携した需要拡大	28,000	(1) 全日空との共同キャンペーンの実施 ・「鳥取多美」をコンセプトに「癒し」、「食」、「アクティビティ」などのテーマごとに鳥取ならではのモニターツアーや旅行商品の造成支援、情報発信 (2) 羽田乗り継ぎによる海外からのインバウンド誘客 ・全日空の海外支店と連携した商品造成や情報発信
③国内路線新規開拓	2,500	新規路線開拓に向けた国内チャーター便の就航支援や航空会社と連携した取組を実施(機内誌でのPR等)
合計	34,000	

3 これまでの取組状況、改善点

これまで地元官民が一体となって、航空便の利用促進、空港機能の強化、二次交通対策等の取組を継続的に実施してきた結果、平成29年度の鳥取・米子～羽田便の利用実績は、過去最高の実績で推移している。

特に、鳥取空港では取組や実績が評価され、羽田発着政策コンテスト枠による5便化が平成32年3月まで再延長が認められたところ。

今後も新規路線の就航を含めた両空港の航空路線の充実に向けて、空港利用圏域の拡大や新たな利用者層の開拓など更なる取組が必要である。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光戦略課（内線：7099）

3目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便利用促進事業（利用拡大促進）	54,986	61,053	△6,067	1,500			53,486	

トータルコスト 65,315千円（前年度 71,385千円）[正職員：1.3人]

主な業務内容 国内航空路線の利用促進活動の実施など

工程表の政策目標（指標） 東京便の増便、航空便の運賃低廉化、国内航空便の利用促進（便数：鳥取－東京便5便、米子－東京便6便）

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

県内両空港を発着する航空路線の維持・拡充と利便性向上を図るため、両空港の利用促進懇話会等と連携し、首都圏でのPR活動や旅行商品造成の働きかけ等を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
①県内両空港の利用促進懇話会を通じた取組	30,095	両懇話会が取り組む航空便の利用促進事業に要する経費の一部を負担する。（路線PRイベント、ノベルティ作成、県内空港利用の旅行商品造成、販促経費の一部支援等）
②航空便利活用支援	12,000	県の重点施策分野と連携した航空便利用支援を行う。（移住定住を目的とした来県、地元ではできない経験のため航空便を利用する子ども、障がい者、介護利用等への運賃支援）
③空港賑わい創出、路線情報発信	7,700	空港や路線の認知度向上による誘客に繋げるため、県内両空港情報発信の愛称にちなんだ装飾を行うなど、空港内の賑わい創出及び魅力発信を行う。
④航空路線調査分析	4,500	県内航空路線の利用動向分析、国内及び国際航空業界の動向分析、航空便利用者アンケート調査等により路線誘致戦略、効果的な利用促進策等の取組に資する。
⑤全国地域航空システム推進協議会負担金	129	地域航空システムの調査研究を行う協議会への負担金
⑥検査機器保守管理等	562	県で保有する検査機器の保守点検等の委託
合計	54,986	

3 これまでの取組状況、改善点

これまで地元官民が一体となって、航空便の利用促進、空港機能の強化、二次交通対策等の取組を継続的に実施してきた結果、平成29年度の鳥取・米子～羽田便の利用実績は、過去最高の実績で推移している。

特に、鳥取空港では、羽田発着枠政策コンテストの結果、取組や実績が評価され、平成32年3月まで5便化の継続が認められた。

今後も新規路線の就航を含めた両空港の航空路線の充実に向けて、空港利用圏域の拡大や新たな利用者層の開拓など更なる取組が必要である。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

3目 交通対策費

観光戦略課 (内線: 7099)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																							
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																								
国際航空便利用促進事業	153,980	163,193	△9,213				153,980																								
トータルコスト	176,226千円 (前年度 185,447千円) [正職員: 2.8人]																														
主な業務内容	エアソウル・香港航空への運航支援、就航地等との交流拡大、関係機関との連絡調整																														
工程表の政策目標(指標)	国際航空便の誘致、利用促進																														
事業内容の説明																															
<p>1 事業の目的・概要 国際定期便の安定的な運航を図るため、次の取組を実施する。</p> <p>(1) 米子ソウル・香港便の両路線を運航する航空会社に対して、運航に要する経費の一部を支援する。</p> <p>(2) 米子香港便を活用した教育・スポーツ等の交流の拡大につながる取組を支援するとともに、第三国への乗継利用の拡大等による利用促進を図る。</p> <p>(3) 山陰両県の官民で組織する国際定期便利用促進協議会の一員として、両路線の利用促進を図る。</p>																															
<p>2 主な事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 55%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①エアソウルに対する支援</td> <td style="text-align: center;">73,500</td> <td> 運航に要する経費の一部を支援 <既存便分(週3便)> ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料の3/4 ・空港ビル施設利用料の10/10 <増便分(週2便)> ・着陸料の1/2、空港ビル施設利用料の1/3 ※米子空港が昨年7月に認定を受けた訪日誘客支援空港(拡大支援型)の制度に基づき、国による割引・支援と同額を支援する。 </td> </tr> <tr> <td>②香港航空に対する支援</td> <td style="text-align: center;">70,000</td> <td> 運航に要する経費の一部を支援 ・着陸料、ハンドリング経費の1/2 ・保安料、航行援助施設利用料の3/4 ・空港ビル施設利用料、ハイジャック検査業務の10/10 ※ただし、70,000千円を上限として支援する。 </td> </tr> <tr> <td>③米子香港便交流創出支援</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td> 教育、スポーツ、文化、ビジネス分野で香港便を利用した香港・マカオ地域等との交流の拡大に繋がる取組を支援 ・補助率: 10,000円/人(定額) </td> </tr> <tr> <td>④米子発香港乗継利用促進</td> <td style="text-align: center;">180</td> <td> 4泊5日以上での米子発香港乗継による利用促進を図るため、県内に営業所のある企業、団体等を支援 ・補助率: 1人1往復当たり6,000円(定額) </td> </tr> <tr> <td>⑤国際定期便利用者支援</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td> 国際定期便利用者に対して、米子駅～米子空港間の連絡バス往復料金をワンコイン(500円)で提供 </td> </tr> <tr> <td>⑥国際定期便利用促進協議会負担金</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td> 米子空港国際定期便の利用を促進するため、国際便の利用者に対して各種支援を実施 ・団体旅行・教育旅行貸切バス支援、旅行商品造成支援等 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">153,980</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								区分	予算額	内容	①エアソウルに対する支援	73,500	運航に要する経費の一部を支援 <既存便分(週3便)> ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料の3/4 ・空港ビル施設利用料の10/10 <増便分(週2便)> ・着陸料の1/2、空港ビル施設利用料の1/3 ※米子空港が昨年7月に認定を受けた訪日誘客支援空港(拡大支援型)の制度に基づき、国による割引・支援と同額を支援する。	②香港航空に対する支援	70,000	運航に要する経費の一部を支援 ・着陸料、ハンドリング経費の1/2 ・保安料、航行援助施設利用料の3/4 ・空港ビル施設利用料、ハイジャック検査業務の10/10 ※ただし、70,000千円を上限として支援する。	③米子香港便交流創出支援	200	教育、スポーツ、文化、ビジネス分野で香港便を利用した香港・マカオ地域等との交流の拡大に繋がる取組を支援 ・補助率: 10,000円/人(定額)	④米子発香港乗継利用促進	180	4泊5日以上での米子発香港乗継による利用促進を図るため、県内に営業所のある企業、団体等を支援 ・補助率: 1人1往復当たり6,000円(定額)	⑤国際定期便利用者支援	100	国際定期便利用者に対して、米子駅～米子空港間の連絡バス往復料金をワンコイン(500円)で提供	⑥国際定期便利用促進協議会負担金	10,000	米子空港国際定期便の利用を促進するため、国際便の利用者に対して各種支援を実施 ・団体旅行・教育旅行貸切バス支援、旅行商品造成支援等	合計	153,980	
区分	予算額	内容																													
①エアソウルに対する支援	73,500	運航に要する経費の一部を支援 <既存便分(週3便)> ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料の3/4 ・空港ビル施設利用料の10/10 <増便分(週2便)> ・着陸料の1/2、空港ビル施設利用料の1/3 ※米子空港が昨年7月に認定を受けた訪日誘客支援空港(拡大支援型)の制度に基づき、国による割引・支援と同額を支援する。																													
②香港航空に対する支援	70,000	運航に要する経費の一部を支援 ・着陸料、ハンドリング経費の1/2 ・保安料、航行援助施設利用料の3/4 ・空港ビル施設利用料、ハイジャック検査業務の10/10 ※ただし、70,000千円を上限として支援する。																													
③米子香港便交流創出支援	200	教育、スポーツ、文化、ビジネス分野で香港便を利用した香港・マカオ地域等との交流の拡大に繋がる取組を支援 ・補助率: 10,000円/人(定額)																													
④米子発香港乗継利用促進	180	4泊5日以上での米子発香港乗継による利用促進を図るため、県内に営業所のある企業、団体等を支援 ・補助率: 1人1往復当たり6,000円(定額)																													
⑤国際定期便利用者支援	100	国際定期便利用者に対して、米子駅～米子空港間の連絡バス往復料金をワンコイン(500円)で提供																													
⑥国際定期便利用促進協議会負担金	10,000	米子空港国際定期便の利用を促進するため、国際便の利用者に対して各種支援を実施 ・団体旅行・教育旅行貸切バス支援、旅行商品造成支援等																													
合計	153,980																														
<p>3 これまでの取組状況、改善点 堅調な利用実績を背景に米子ソウル便が12月23日から2往復が増便され、また、米子香港便も就航から1年が経過し好調な搭乗率で推移しているが、これらの維持発展を図るためには、更なる路線の認知度向上と利用促進強化が必要である。</p>																															

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

3目 交通対策費

観光戦略課 (内線: 7629)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便就航促進事業	11,250	13,350	△2,100	1,500			9,750	
トータルコスト	22,373千円 (前年度 24,477千円) [正職員: 1.4人]							
主な業務内容	チャーター便誘致に係る航空会社との連絡・調整等							
工程表の政策目標 (指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

外国人観光客増加による県内観光消費の伸長と、本県観光産業のさらなる発展のため、県内空港利用によるチャーター便を活用したツアーやチャーター機着陸料等の支援など、東アジア地域等からの国際チャーター便の誘致活動に取り組む。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容				
「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援	8,000	区 分	航空会社	旅行会社		
		対 象	-	インバウンド	アウトバウンド	
		支援条件	東アジア地域等から県内空港へのチャーター便を運航	県内宿泊施設で1泊以上宿泊	県内空港を利用したチャーター便利用	
		支援内容	着陸料等 3/4 支援	ツアー客1名につき 5千円		
		限度額	1 離着陸当たり 20万円	1 便あたり 100万円	※国内航空便利用促進事業(空港利用促進懇話会を通じて支援) 座席数 200 席未満 50万円 座席数 200 席以上 100万円	
		〈連続チャーターへの追加支援〉		・ 支援条件: 1 か月 3 離着陸以上運航		〈広告支援〉
		・ 支援内容: 空港ビル使用料 10/10 支援		日本人向けツアー造成(広告費)に対する経費支援		
		・ 限度額: 1 離着陸 14万円、1 か月 100万円		限度額: 50万円		
連続チャーター便ツアーPR事業	3,000	季節チャーター便として連続3離着陸以上の運航を行う航空会社及び同企画に併せて本県の観光素材を活用した商品を造成する旅行会社と協働して、本県の魅力を国外にPRする。 〈支援目安: 上限 1,500千円/社×2社(航空会社・旅行会社)〉				
チャーター便誘致に向けた取組	50	空港サポート通訳業務 50千円				
	200	・ 新規チャーター便協議に係るアドバイザーの派遣 ・ 新規チャーター便誘致の交渉等にあたり、旅行社等をアドバイザーとして派遣				
計	11,250					

3 これまでの取組状況、改善点

積極的かつ継続的なエアポートセールスにより、香港からのチャーター便の就航が定期便化に繋がった。引き続き、台湾をはじめ各方面からのチャーター便を誘致し、海外インバウンドの促進に努める。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便等誘客促進事業	30,000	40,000	△10,000				30,000	
トータルコスト	37,945千円（前年度 47,948千円） [正職員：1.0人]							
主な業務内容	県内航空路線等を活用した県外からの観光客誘客促進							
工程表の政策目標（指標）	鳥取・米子両空港、県内外の鉄道及び高速道路ネットワークを活用し、近隣県の観光資源と連携した周遊ルートの造成やマンガ関係施設を巡る旅行等のテーマを設定した広域的な周遊ルートの造成等により、観光客の増加を目指す。							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

首都圏及び関西・中京圏からの個人旅行者向けの誘客施策として、大手宿泊予約サイトを活用した航空便及び自動車道の利用促進キャンペーンを展開する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
旅行社と連携した観光情報発信	8,000	・旅行社店頭での鳥取県観光誘客キャンペーン ・旅行社と連携した鳥取県路線・観光キャンペーン情報のウェブ、店頭での発信
国内線を活用した海外からの誘客促進	8,000	・羽田空港乗り継ぎ等による海外からの観光客誘客のための情報発信（アジアなどからの首都圏乗り継ぎでの誘客促進）
WEB旅行社連携による誘客促進	14,000	・大手宿泊予約サイト運営会社と連携した個人旅行者取込みのための鳥取県観光情報発信（春季・冬季にターゲットを絞った誘客を展開）

※平成29年11月補正予算において一部予算の債務負担行為設定済み
（個人旅行者誘致のための宿泊及び観光情報発信事業 6,000千円）

3 これまでの取組状況、改善点

県内の2空港（「鳥取砂丘コナン空港」及び「米子鬼太郎空港」）は、まんがキャラクターの名前を冠した全国的にも珍しい空港であり、これを観光情報発信に活用して誘客に取り組んでいる。

平成28年度は、鳥取県中部地震や大雪といったマイナス要因があったにもかかわらず、両空港ともに、過去最高の利用者数を記録した。（米子鬼太郎空港については全日空運航分に限る。）さらに、鳥取砂丘コナン空港については、「羽田空港発着枠政策コンテスト」による1日5往復の運航継続が決定されたところである。今後は、航空便旅客に加え、自動車道のアクセス性が格段に向上することから、自動車道を活用した関西・中京圏の個人旅行者向け誘客キャンペーン「近くて、便利で、行きやすい鳥取」の情報発信を展開し、効率的な観光誘客に取り組む。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
1項 商業費
3目 金融対策費

観光戦略課(内線:7421)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光開発促進資 金融資制度	9,988	16,289	△6,301			<貸付金元利収 入> 9,988		
トータルコスト	9,988千円(前年度 16,289千円) [正職員:0.0人]							
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等							
工程表の政策目標 (指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

観光振興を図るため、県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設整備を行う中小企業に対し、その必要な資金の一部を融資する。

2 主な事業内容

金融機関に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。

・貸付金 9,988千円

融資対象	県内において、観光・レクリエーション施設及び旅館業の用に供する施設の整備を行う者	
融資条件等	限度額	2億
	利率	2.14~2.48%
	期間	15年以内
事業終了年度	平成31年度予定	

※預託金は年度末に県に返還され、これを財源としている。

※平成18年度以降の新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金(商工労働部企業支援課)」に移行しており、本事業分は平成17年度までに承認した既融資分(4社)に係る経費である。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
一般社団法人山陰インバウンド機構運営事業	100,000	77,000	23,000				100,000	
トータルコスト	119,068千円（前年度 96,075千円）〔正職員：2.4人〕							
主な業務内容	山陰インバウンド機構を核としたインバウンド観光振興（ブランドづくり、PR等）							
工程表の政策目標（指標）	DMOを核とした連携により、観光地域づくりと外国人誘客促進を目指す。							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

・「観光地マネジメント」の視点に立った地域の磨き上げと外国人観光客の誘致を促進するため、「山陰」を対象エリアとした観光地域づくり組織「（一社）山陰インバウンド機構」の運営経費を負担する。
 なお、同機構の事業費については、鳥取県、島根県が同額を負担するほか、国の「広域周遊観光促進のための新たな観光地支援事業※」による支援が見込まれる。

・同機構は、山陰における外国人受入体制の強化と山陰一体となった海外プロモーションの展開等により、広域観光周遊ルート「緑の道～山陰～Route Romantique San'in」のPR、「山陰ブランド」の確立を目指す。また、県内各圏域の観光地づくりや旅行の斡旋などきめ細かな対応を行う圏域DMOや観光協会等と連携することで、山陰全体の観光地マネジメントを推進する。

※「広域周遊観光促進のための新たな観光地支援事業」

日本の地方部への訪日外国人旅行者をはじめとした観光客の周遊を促進するため、DMOが中心となって地域の関係者が連携して行う取組を支援する。

2 主な事業内容

（ ）内は前年度額（単位：千円）

区分	内容	事業費内訳		
		総事業費	うち鳥取県・島根県負担額	うち国負担見込
マーケティング、山陰の認知度向上対策	動画、SNS等を活用した市場調査により、ターゲット国の観光需要を把握するほか国内での外国人向けアンケート調査等を行う。	41,000 (48,500)	20,500 (7,500)	20,500 (41,000)
受入環境整備・交通アクセスの円滑化	外国人観光客向けの二次交通情報の発信、山陰地域通訳案内士の研修等を行う。	58,400 (50,000)	35,200 (35,000)	23,200 (15,000)
滞在コンテンツの充実	外国人観光客が山陰での滞在を楽しめるよう、農山漁村滞在の促進、決済環境の改善、体験メニュー、土産品等の商品開発を行う。	15,000 (9,550)	7,500 (7,880)	7,500 (1,670)
対象市場向け情報発信・プロモーション	海外に向けたWEB等での情報発信、山陰両県の誘客重点国・地域でのプロモーション活動、山陰の航空路線を活用した誘客を行う。	140,600 (130,080)	70,300 (46,330)	70,300 (83,750)
管理費	人件費、事務所借上代、機構の運営に係る事務費、活動経費等	66,500 (57,290)	66,500 (57,290)	0 (0)
計		321,500 (295,420)	200,000 うち鳥取県 100,000 (154,000) うち鳥取県 77,000	121,500 (141,425)

※国負担額については現在申請中であり、今後変動する可能性がある。

3 これまでの取組状況、改善点

国も「訪日外国人4,000万人」に向け強力に事業を推進しており、平成29年の年間訪日外国人観光客数は2,869万人（対前年19.3%増）と順調な伸びを見せているなか、平成28年の山陰両県の外国人宿泊客数は、両県で約16万人と国全体の約0.2%であり、外国人観光客による消費拡大や雇用の創出に向けて一層のインバウンド推進が必要である。

平成29年10月に法人化した「一般社団法人山陰インバウンド機構」は、組織体制を強化し、国の広域観光周遊ルートに認定された「緑の道～山陰～Route Romantique San'in」をさらに推進するため、国費を活用して山陰への外国人誘客事業に取り組む。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他 一般財源	
観光振興費	71,741	55,074	16,667			<手数料208、 雑入8> 216	71,525

トータルコスト	90,809千円（前年度 74,149千円）〔正職員：2.4人、非常勤職員：2.0人〕						
主な業務内容	他府県や市町村との連絡調整、旅行者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等						
工程表の政策目標 （指標）	-						

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

魅力ある観光地をつくり、観光による誘客を推進するため、一層のおもてなしの向上を図る取組等を推進する。また、観光振興施策の企画・立案のため、本県の観光客数、出発地、観光の動機などについて調査を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
鳥取県観光振興指針検討委員会	228	鳥取県観光振興指針「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針」改訂の審議を行う鳥取県観光振興指針検討委員会の設置
観光客入込動態調査の実施	3,067	本県への観光客数、出発地、観光の動機などについての統計調査
各種観光振興団体への負担金	2,162	各種観光団体が行う観光施策等に効果的に参画するため負担金を支出
砂丘西側用地の管理	310	松くい虫被害木の伐採等の管理
観光案内看板の管理	700	観光案内看板の整備、情報更新
フィルムコミッション業務委託	4,914	鳥取県におけるフィルムコミッションの窓口業務を行う鳥取県観光連盟への委託
非常勤職員	3,788	非常勤職員（事務補助）2名
事務費等	56,572	観光戦略課所掌事務に係る連絡調整に係る経費等
計	71,741	

県内観光推進組織連携事業	1,000	1,000	0			1,000
トータルコスト	1,795千円（前年度 1,795千円）〔正職員：0.1人〕					
主な業務内容	事業の企画、関係組織との連絡調整					
工程表の政策目標 （指標）	DMOを核とした連携により、観光地域づくりと外国人誘客促進を目指す。					

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

平成28年4月に設立した山陰インバウンド機構と県内各圏域DMOが連携し、効率的かつ確実に地域の魅力を提供する仕組みを確立するため、県内各圏域DMOの機能向上を目指す。

2 主な事業内容

県内DMO専門家派遣事業 1,000千円

地域づくりの有識者や先進的DMOの経営者等を招いた実地指導を実施し、DMO運営に対する知識やノウハウの蓄積のほか、山陰インバウンド機構が保有するマーケティングデータの活用への助言等、DMOとしての機能向上を図る。

3 これまでの取組状況、改善点

国内外の観光客の獲得と、持続可能な地域経済の発展に向けて、地域全体の観光マネジメントを行う組織（DMO（観光地域づくり法人））の整備と機能向上が求められている。

平成28年度は鳥取県中部のDMO「鳥取中部観光推進機構」を対象に専門家を招致し、同機構は、専門家の指導・助言を今後の事業計画策定に生かすことができた。

平成30年1月には鳥取県東部地域のDMOとして新たに「一般社団法人麒麟のまち観光局」が設立されるなど圏域DMOの整備が進んでいるため、本事業により圏域DMOと山陰インバウンド機構との連携強化及び組織の機能向上を支援する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県観光連盟 運営費	95,271	94,578	693				95,271	
トータルコスト	96,860千円（前年度 96,168千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	負担金の交付・連絡調整							
工程表の政策目標 （指標）	中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

観光客誘致に関する取組を強化し積極的な誘客を図るため、観光キャンペーンの実施及び商品造成の働きかけ・観光情報の発信等を行う（公社）鳥取県観光連盟の運営費を負担する。

2 主な事業内容

・運営費負担金 95,271千円

区分	内 容
人件費	県10/10（組織体制）専務理事（県派遣）、事務局長、課長（2名うち1名県派遣） 観光プロモーター（3名）、書記（6名うち3名が正職員）
事業費	県1/2 （1）地域受け地づくり対策推進事業 着地型旅行商品販促、体験型商品企画支援、広域観光機能強化事業、教育旅行誘致促進体制整備 など （2）観光客誘致対策強化事業 旅行エージェント招致、観光情報説明会開催、観光プロモーター活動事業 など （3）観光誘客キャンペーン事業 交通事業者との観光キャンペーン、観光親善大使による誘客活動 （4）情報発信・宣伝事業 各種観光パンフレット制作、ホームページ、旅行エージェント向け観光素材集制作 （5）会員等との誘客連携事業

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年度に鳥取県観光連盟の業務を見直し、機動的な対応が必要な業務、民間事業者との連携が必要な業務などを段階的に移管し、平成24年度には観光商品造成支援業務、観光ホームページの運営及び観光パンフレット等の作成、平成25年度には観光ニュースの発行等、観光情報発信業務を移管した。
平成26年度より組織体制強化のため、書記の正職員化を進め、現在3名の正職員を有している。平成30年度以降も観光魅力づくり・誘客促進を図っていく。

事業名	本年度	前年度	比較	備考
コンベンション 誘致促進事業	48,750	47,025	1,725	48,750
トータルコスト	49,545千円（前年度 47,820千円） [正職員：0.1人]			
主な業務内容	（公財）とっとりコンベンションビューローへの指導、調整交付金・補助金交付事務、実施主体との連絡調整			
工程表の政策目標 （指標）	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。			

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内産業の振興、地域活性化、国際的相互理解の増進及び文化の向上を図るため、県内全域を対象にしたコンベンションの誘致を促進する（公財）とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内 容
運営費交付金	27,400	（公財）とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。（負担率 県1/2・4市1/2）
コンベンション 開催助成費補助金	21,350	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。（負担率 県1/2・開催市町村1/2）

3 これまでの取組状況、改善点

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を控え、スポーツに対する意識が高まる中、一層のスポーツ大会等の誘致を進めていくほか、ビジネス客の取り込みにつながるインバウンド客の誘致活動を積極的に進める。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」創造事業	10,423 〔債務負担行為〕 5,616	7,014	3,409 〔債務負担行為〕 5,616	5,211		〔債務負担行為〕 〈基金繰入金〉 5,616 〈基金繰入金〉 5,212	

トータルコスト 14,396千円（前年度 8,604千円）〔正職員：0.5人〕

主な業務内容 関係機関との調整、委託業務調整

工程表の政策目標（指標） 中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上、バリアフリー観光の推進

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」及び「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

1 事業の目的、概要

高齢人口の増加、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた全国的なユニバーサル化推進のなか、鳥取県観光の成長産業化を進めるため、一層の拡大が見込まれるユニバーサルツーリズム市場を他県に先駆けて開拓し「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」となるよう、ユニバーサルツーリズムを推進する。

2 主な事業内容

(1) 「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」発信事業 (5,535千円)

「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」の知名度向上を図るため、アプリやSNS、パンフレット等の情報媒体を活用し、ターゲットの属性やニーズに合わせた効果的な情報発信を行う。

ア ユニバーサル情報共有アプリによる全世界への情報発信 1,404千円〔債務負担行為設定 (H31-32)〕

障がい者や高齢者、外国人など、多様なユーザーが旅行時に求める情報を地図上で共有するアプリサービス（B-maps）を導入。2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに旅行者がストレスなく快適に観光できるよう、観光情報、ユニバーサル環境整備状況（発着地となる交通拠点、観光・宿泊・飲食施設等）、交通案内等をアプリに掲載する。（日本語・英語対応）

委託予定先：（株）ミライロ（B-mapsを日本財団と共同開発）

イ パワーブロガー等による戦略的情報発信 2,731千円

ユニバーサルツーリズムでは、クチコミでの旅行情報入手が主流であるため、障がい者等関係者や旅行市場に影響力のあるパワーブロガー等を招聘し、四季折々の鳥取の魅力を体感するユニバーサルツアーの体験をSNS等において発信する。

ウ ユニバーサル情報誌制作 1,400千円

モデルコース及び県内の観光施設等ユニバーサル情報等を掲載した情報誌を作成し、比較的インターネットを使用しないシニア層への情報発信や旅行商品化に向けてのプロモーションに活用する。

委託予定先：トラベルフレンズとっとり

※アプリ：application software・アプリケーションソフトウェアの略。パソコンなどの情報処理装置にインストールされたOS（基本ソフト）上で動作するソフトウェアを指す。スマートフォンの普及とともに定着し、電話機能、電子メール、ウェブブラウザ、ゲームなどもすべてアプリと呼ばれる。

※SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）の略。インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションを図ることができるよう設計された会員制サービス。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

(2) ユニバーサル事例創出支援事業 3,888千円〔債務負担行為設定 (H31)〕

ユニバーサル化による経営の成功事例を創出するため、経営コンサルタント・金融機関・ユニバーサル建築等の専門家で構成するチームにより、ユニバーサル化に将来性を見出している旅館等経営者を集中的に支援。ユニバーサル化に取り組むメリットや先進成功事例、ビジネス展望、施設の具体的なユニバーサル化対応策を提示するとともに、中長期の経営相談等を行う。

委託予定先：地元金融機関

(3) 「誰でもSEA TO SUMMIT」（仮称）実施事業 1,000千円

「皆生・大山SEA TO SUMMIT 2018」において、本競技とは別に、新たに障がい者向けコースを設定する。

3 これまでの取組状況、改善点

観光資源やバリアフリー環境整備状況等を考慮し、旅行会社、障がい者、高齢者団体等の意見を踏まえたモデルコースの設定に向けて取り組んでいるところである。高齢者や障がいのある方も楽しく観光いただけるコース設定や情報発信に努める等、引き続き、おもてなし態勢の整備に取り組んでいく。

（目標）KPI：バリアフリーツアーコースを平成31年度までに10コース設定

（現状）平成28年度までに6コース設定済み、平成29年度に4コースを設定中であり、目標を前倒しで達成する見込みである。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業	34,000	22,924	11,076	17,000		<寄付金100、基金繰入金16,900> 17,000	
トータルコスト	41,945千円 (前年度 30,872千円) [正職員: 1.0人]						
主な業務内容	星取県にかかる情報発信・ブランド構築、受入体制整備・星空メニュー開発、関係機関との連携・連絡・調整						
工程表の政策目標(指標)	中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上、サイクリング等ニューツーリズムの推進						

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」及び「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

1 事業の目的、概要

鳥取県は、県内全市町村から「天の川」が見え、「流れ星」も見やすく、「美しい」星空を持つ地域で、環境省の調査(全国星空継続観察)でこれまで何度も日本一に輝いた星空を有している。引続き、国内外における星取県の認知度及びブランドイメージ向上を図りつつ、星取県ならではの星空観光メニューの充実を図り、県全域の観光振興等に繋げていく。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
■情報発信・ブランド構築		
スター大使活用等による情報発信	12,600	星取県イベント、ワークショップ開催、メディア活用
	3,000	スター大使デザインのシンボルマークを活用した情報発信ツール制作(チラシ・ポスター、ノベルティ)
〔新〕企業等との連携による情報発信	5,000	より幅広い層に「星取県」を認知していただくため、ブランド力のある企業・団体等と連携して情報発信を展開する。 【想定】一般消費者によく知られている企業、宇宙分野の専門機関とのイベント開催等
■受入体制整備・星空メニュー開発		
〔新〕雨天・曇天対策	8,000	雨天・曇天の場合に、県内各地の星空ツアープログラム提供者が活用できる星取県の星空動画や、VR/ARコンテンツを開発し、提供を目指す。 【VRコンテンツのアイデア例】鳥取砂丘の満天の星空や天の川がいつでもどこでも体験できる。
ニューツーリズム普及促進支援補助金(星取県推進型)	5,400	国内及び外国人向けに提供できる体験プログラムを造成する事業者に対して助成を行う。 補助率: 2/3、上限額: 1,000千円
合計	34,000	

※星空観察会で解説・対応できる星空案内人養成研修も実施(環境立県推進課 H30予算: 500千円)

※VR: Virtual Reality(バーチャルリアリティ・仮想現実)の略称。コンピューターによって作られた仮想的な世界を、あたかも現実世界のように体感できる技術。この技術を体験するには、ゴーグル型の装置を頭部に装着する必要がある場合が多い。

※AR: Augmented Reality(アグメンティッド・リアリティ・拡張現実)の略称。拡張現実とは、現実世界の物事に対してコンピューターによる情報を付加する技術、または、そのようにしてコンピューターによる情報が付加された世界のこと。拡張現実とは、仮想現実(バーチャルリアリティ)と対比される。仮想現実とは、現実にはないものをコンピューターによってあたかもそこにあるかのように知覚させる技術である。これに対して、拡張現実とは、現実には存在するものに対してコンピューターが情報をさらに付与し、さらに強い・深い知覚を可能にするものであると言える。ポケモンGOはARの一例である。

3 これまでの取組状況、改善点

○平成29年度から、星空を観光振興、環境教育、地域づくり等に活用する「星取県」の取組を開始した。県内では官民双方による情報発信やイベント開催や星空を楽しむ観光プログラムの実施が増え、地域全体に星取県関係の動きが広がりつつある。
○今後は、星空ツアーで課題となる雨天・曇天対策に取り組むなど、県内事業者が観光メニュー等に星空を活用しやすい環境を作りながら、更なる観光誘客を図る。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「蟹取県へウェルカニ」 誘客促進事業	32,727	33,400	△673				32,727	
トータルコスト	40,672千円 (前年度41,348千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	キャンペーン企画、業務委託事務、広報業務							
工程表の政策目標 (指標)	観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上、中部地震で落ち込んだ観光需要の回復							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

カニシーズンの到来に合わせ「鳥取県＝カニ」を情報発信の切り口とした誘客キャンペーンを展開し、首都圏をはじめとする都市圏メディアでの露出を図ることで本県への誘客につなげる。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の実施	8,300	キャンペーン期間中 (平成30年9月1日～31年2月28日)、県内の宿泊施設に宿泊した方を対象に、抽選で毎月100名様に「鳥取県のカニ」をプレゼントする。
メディアでの情報発信	2,100	首都圏・関西圏の大手メディア発信による全国規模での露出 (本県の知名度向上) を誘客促進につなげる。 (テレビ番組誘致、プレスリリース配信など)
WEBでの情報発信	5,127	フェイスブックやLINE、YouTubeなどSNSと連動した特設WEBサイトを構築し、キャンペーン情報を発信する。
キャンペーンパンフレット・ポスターの作成	7,400	キャンペーンパンフレット、ポスター等を作成し、キャンペーン情報を発信する。
首都圏メディア発表会の開催	9,800	首都圏においてキャンペーンのキックオフイベントを開催し、キャンペーンのPRを実施する。
合計	32,727	

※SNS: インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションを図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス (social networking service) の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

※フェイスブック: 世界規模で利用されるSNSサイトの一つ。インターネットに接続したパソコンや携帯電話等からアクセスする。「仲間たちと交流を深めること」を目的としているのが特徴の一つ

※LINE (ライン): スマートフォン等の携帯端末から、個人間、グループ間でのメッセージ交換サービスや音声通話を利用できるサービス及び同名の無料アプリケーション (ソフトウェア)。SNSがオープンであるのに対し、友人などのグループ内でメッセージ交換など限定的な点がサービスの特徴である。

※You Tube: 無料で利用できる動画共有の代表的なサイト

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成26年度から「ウェルカニキャンペーン」を開始した。
- 平成28年度及び平成29年度は、娯楽調のインパクトあるビジュアルイメージでポスター・パンフレット等を作成したほか、蟹をテーマとした動画のWEB公開などによりWEB・SNSから情報の拡散を図ることができた。
- キャンペーン期間中、「蟹取県」「ウェルカニ」をキーワードに、首都圏をはじめとする各メディアでの露出につなげることができた。
- 今後も継続して「蟹取県」「ウェルカニ」を切り口とした取り組みを実施することで、都市圏でのイメージ定着を進め、本県への誘客促進に結びつける必要がある。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「ぐるっと山陰」誘客促進事業	49,500	43,000	6,500				49,500	

トータルコスト 51,884千円（前年度 45,384千円） [正職員：0.3人]

主な業務内容 補助金交付事務

工程表の政策目標（指標） 中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

団体旅行向けの観光誘客促進として、本県への旅行商品造成及び宿泊を伴うバスツアー造成、観光パスポート「トリパス」の作成に対する支援を行う。

2 主な事業内容

(1) バス旅行商品支援 ※平成29年11月補正予算において債務負担設定済

鳥取県観光連盟のプロモーター（県外本部駐在）を活用した、県外旅行会社へのバス旅行商品造成の働きかけを行う。

補助金交付先	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援 【支援内容】 ・宿泊あり：バス1台当たり30千円/泊 ・宿泊なし：バス1台当たり15千円 【支援条件】 ・県内宿泊施設での平日宿泊又は平日周遊 ・1バス20名以上 ・県内の観光地を2箇所以上訪問 ・観光連盟が指定する食事箇所又は県内旅館等で1回以上の食事利用
補助率、予算額	10/10（定額）、40,000千円

(2) 旅行商品造成支援 ※平成29年度11月補正予算において債務負担設定済

鳥取県観光連盟のプロモーターを活用した、県外旅行会社への旅行商品造成の働きかけを行う。

補助金交付先	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	旅行会社が支援条件を満たす旅行商品を造成した場合の経費支援 （旅行商品造成1件あたり500千円程度を想定）
補助率、予算額	10/10（定額）、7,500千円

(3) 観光パスポート「トリパス」作成支援

個人旅行者に対して訴求力の強い「トリパス」を県外で積極的に配布できる環境を整えることで、個人旅行の需要喚起をする。

補助金交付先	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	観光パスポート「トリパス」の印刷経費支援
補助率、予算額	1/2、2,000千円

3 これまでの取組状況、改善点

平成26年度に施行された貸切バスの新運賃制度に起因するバス代高騰により、旅行会社は団体バスツアー造成を控える傾向にある。また、鳥取県中部地震により失われた観光需要を取り戻すため「とっとりで待っどります旅行商品造成支援」や「中部地震復興応援バス商品支援」などの対策を実施したが、県全体の観光入込客数において団体バスツアー客は減少している。

団体バスツアーの観光客は、近年増加している個人観光客に比べて直前のキャンセルが少なく平日の来県が多いなど、県内観光施設、旅館等の安定的な経営に不可欠であるため、継続した支援が必要である。

引き続き、平日を活用した旅行商品造成・観光周遊、個人旅行需要の取り込みなどを促すことで、確かな観光需要に繋げていく。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
観光情報提供事業	40,250	45,790	△5,540				40,250																
トータルコスト	52,168千円（前年度57,712千円）[正職員：1.5人]																						
主な業務内容	マスコミへの情報提供、取材の受け入れ																						
工程表の政策目標(指標)	中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取ならではの魅力を全国に訴えるため、新聞・雑誌・テレビ等の各種媒体を通じて、本県の魅力を県外へ情報発信する。</p>																							
<p>2 主な事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 45%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マスコミ（テレビ・雑誌等）への情報提供や売り込み活動、イベント参加</td> <td style="text-align: center;">39,400</td> <td>テレビ番組・情報誌・旅雑誌・自動車専門誌企画等を活用した情報発信、駅構内・空港・高速道路サービスエリア等でのイベント展開など</td> </tr> <tr> <td>マスコミの取材受入及び視聴者・読者向けプレゼント等</td> <td style="text-align: center;">750</td> <td>マスコミ関係者の取材招へい、視聴者・読者プレゼント等</td> </tr> <tr> <td>とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td>とっとり観光親善大使の派遣費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">40,250</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	内 容	マスコミ（テレビ・雑誌等）への情報提供や売り込み活動、イベント参加	39,400	テレビ番組・情報誌・旅雑誌・自動車専門誌企画等を活用した情報発信、駅構内・空港・高速道路サービスエリア等でのイベント展開など	マスコミの取材受入及び視聴者・読者向けプレゼント等	750	マスコミ関係者の取材招へい、視聴者・読者プレゼント等	とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	100	とっとり観光親善大使の派遣費用	合 計	40,250	
区 分	予算額	内 容																					
マスコミ（テレビ・雑誌等）への情報提供や売り込み活動、イベント参加	39,400	テレビ番組・情報誌・旅雑誌・自動車専門誌企画等を活用した情報発信、駅構内・空港・高速道路サービスエリア等でのイベント展開など																					
マスコミの取材受入及び視聴者・読者向けプレゼント等	750	マスコミ関係者の取材招へい、視聴者・読者プレゼント等																					
とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	100	とっとり観光親善大使の派遣費用																					
合 計	40,250																						
<p>※平成29年11月補正予算において債務負担行為設定済み （テレビ番組を活用した観光情報発信業務 10,000千円）</p>																							

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
着地型観光・体験情報発信事業	3,132	3,132	0				3,132													
トータルコスト	3,927千円 (前年度 3,927千円) [正職員: 0.1人]																			
主な業務内容	補助金交付業務、関係先との調整等																			
工程表の政策目標 (指標)	中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上																			
事業内容の説明																				
1 事業の目的、概要																				
鳥取県内の「体験型観光プログラム」を集約し、観光情報とともに発信する「鳥取県ブランドページ」を日本最大級のレジャー体験予約サイト上に継続設置するとともに、当該ページへの導線を整えるなどして、近年増加傾向にある体験型観光を求める旅行者に対し、鳥取県の観光の魅力を強く訴求しダイレクトな誘客に繋げる。																				
2 主な事業内容																				
レジャー体験予約サイト上に設置している「鳥取県ブランドページ」の運営、WEB広告による情報発信を行う事業に対して支援する。 事業主体: (公社)鳥取県観光連盟 事業費: 3,132千円 (補助金・定額)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掲載プログラム収集</td> <td>着地型メニュー、体験プログラム (自然体験、文化体験、歴史探訪ガイドツアー等)</td> </tr> <tr> <td>鳥取県ブランドページの運営</td> <td>・鳥取県ブランドページの保守管理及び更新 ・サイトへの誘導 (体験プログラムは閲覧からの予約が可能であり格外的な誘客に効果的)</td> </tr> <tr> <td>情報発信</td> <td>WEB広告の実施</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	掲載プログラム収集	着地型メニュー、体験プログラム (自然体験、文化体験、歴史探訪ガイドツアー等)	鳥取県ブランドページの運営	・鳥取県ブランドページの保守管理及び更新 ・サイトへの誘導 (体験プログラムは閲覧からの予約が可能であり格外的な誘客に効果的)	情報発信	WEB広告の実施				
区分	内容																			
掲載プログラム収集	着地型メニュー、体験プログラム (自然体験、文化体験、歴史探訪ガイドツアー等)																			
鳥取県ブランドページの運営	・鳥取県ブランドページの保守管理及び更新 ・サイトへの誘導 (体験プログラムは閲覧からの予約が可能であり格外的な誘客に効果的)																			
情報発信	WEB広告の実施																			
3 これまでの取組状況、改善点																				
鳥取県ブランドページは、平成29年度上期における閲覧回数 (PV) 約4,416万件と対前年度同時期比約131%増と、体験型観光に関心のある層に対して鳥取県の観光の魅力を体験型観光と一体的にPRすることができた。また、経済効果としても、平成29年度上期におけるサイトを通じた体験申込の取扱高も対前年度同時期比約102%増と引き続き伸びを見せており、高い効果が得られている。 同ブランドページについて、鳥取県周辺の観光をインターネット上で検索している層を中心にターゲットを絞ったWEB広告を発信し、効率的なPRを展開する。																				
温泉地魅力向上事業	7,310	7,310	0				7,310													
トータルコスト	14,461千円 (前年度 14,463千円) [正職員: 0.9人]																			
主な業務内容	負担金交付事務及び協議会への出席、助言等																			
工程表の政策目標 (指標)	中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上																			
事業内容の説明																				
1 事業の目的、概要																				
国内外からの観光誘客のため、本県の重要な観光素材である「温泉」の魅力向上を図る。																				
2 主な事業内容																				
温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いなば温泉郷支援事業 [総事業費 3,930]</td> <td>1,310千円</td> <td>入湯周遊チケット作成、宿泊プラン造成、県内外でのPR、WEB・マスコミを活用した情報発信等</td> </tr> <tr> <td>皆生温泉支援事業 [総事業費 18,000]</td> <td>6,000千円</td> <td>各種イベントでのPR、インバウンド対策 (外国語サインの作成)、ツアーの実施やクーポンの発行等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,310千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	内容	いなば温泉郷支援事業 [総事業費 3,930]	1,310千円	入湯周遊チケット作成、宿泊プラン造成、県内外でのPR、WEB・マスコミを活用した情報発信等	皆生温泉支援事業 [総事業費 18,000]	6,000千円	各種イベントでのPR、インバウンド対策 (外国語サインの作成)、ツアーの実施やクーポンの発行等	計	7,310千円	
区分	予算額	内容																		
いなば温泉郷支援事業 [総事業費 3,930]	1,310千円	入湯周遊チケット作成、宿泊プラン造成、県内外でのPR、WEB・マスコミを活用した情報発信等																		
皆生温泉支援事業 [総事業費 18,000]	6,000千円	各種イベントでのPR、インバウンド対策 (外国語サインの作成)、ツアーの実施やクーポンの発行等																		
計	7,310千円																			
※負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3																				
3 これまでの取組状況、改善点																				
チケットクーポン作成やWEBを活用した情報発信等のほか、今後、旅行ニーズの多様化・旅行形態の変化に応じた取組を実施する。																				

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7273）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰デスティネーション キャンペーン推進事業	17,000	53,000	△36,000	8,500			8,500	
トータルコスト	18,589千円（前年度54,590千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	負担金交付事務、協議会の運営及び各種連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	JR等と連携した観光誘客、近県との広域連携の推進							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

JRグループ6社と山陰（鳥取・島根）両県の観光事業者、行政が一体となって観光資源の開発や全国的な宣伝を行う広域的な観光キャンペーン「山陰デスティネーションキャンペーン（以下、山陰DC）」が平成30年7月～9月に開催される。このキャンペーンの推進組織である協議会に対して、負担金を支出する。（山陰でのDC開催は今回で6回目）

2. 主な事業内容

- (1) 実施主体 山陰デスティネーションキャンペーン協議会（H28.8.8設立）
会長：島根県知事、副会長：鳥取県知事、JR西日本米子支社長
構成団体：鳥取県、島根県、JR西日本米子支社
両県観光連盟、市長会、町村会、観光関係団体 等
※会長は年度ごとに鳥取県、島根県で交代（H31年度は鳥取県知事が会長）
- (2) 実施時期 平成30年7月1日～9月30日（92日間）
プレDC：平成29年7月1日～9月30日（実施済み）
アフターDC：平成31年7月1日～9月30日（予定）
- (3) キャッチフレーズ 「Nostalgic San'in 忘れがたき山陰」
- (4) 平成30年度の主な事業内容
ア DCの開催（オープニングイベント等の実施）
イ イベントガイドブック（70万部）、5枚組ポスターの制作掲出（全国主要駅1,500ヶ所）
ウ 広報宣伝媒体を活用した情報発信（駅貼り、車内広告、旅の手帖、テレビCM等）

(5) 負担金の内訳（鳥取県分 ※島根県も同額負担予定） （単位：千円）

区分	H29	H30	H31	合計
県費	53,000	17,000	0	70,000
観光連盟	3,000		7,000	10,000
市町村	0		20,000	20,000
合計	56,000		51,000	100,000

3 これまでの取組状況、改善点

山陰DC開催に向け、「山陰デスティネーションキャンペーン協議会」を設立。本県の魅力を知っていただくため、観光素材の磨き上げ、旅行会社へのPRなど、島根県、JR西日本等の関係機関と引き続き連携して事業に取り組む。

<参考：山陰両県での山陰DC開催状況（過去5回とも両県で開催）>

- (1) 昭和61年8月～11月 「見つけてください、あなたの山陰」
- (2) 平成9年6月～8月 「山陰三味～湯・海・食～」
- (3) 平成15年7月～9月 「見つけてください、あなたの山陰」
- (4) 平成18年4月～5月 「見つけてください、あなたの山陰」
- (5) 平成24年10月～12月 「ほっと一息 あなたの旅 山陰から」

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7239)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)米子駅外国人観光案内所運営事業	2,074	0	2,074				2,074	
トータルコスト	3,663千円(前年度 0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	補助金交付業務、関係者との調整事務							
工程表の政策目標(指標)	JR等と連携した観光誘客							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成30年度の山陰デスティネーションキャンペーン及び伯耆国「大山開山1300年祭」の開催に向けた緊急対策として、県西部交通の結節点である米子駅に米子市が整備する外国人観光案内所の運営費を臨時的に支援する。

2 主な事業内容

JR米子駅構内に開設される外国人観光案内所の運営費の一部を支援する。

補助金交付先	米子市
補助対象経費	外国人観光案内所の運営に必要な経費(外国語スタッフの人件費)
補助率、予算額	(補助率) 1/3 (予算額) 2,074千円

※同案内所の整備費は平成29年11月定例会において予算措置済(補助率:1/3、補助額:867千円)

【米子駅外国人観光案内所の概要】

- ・設置主体:米子市(米子市は米子市観光協会へ委託して運営)
- ・設置場所:JR米子駅構内(改札口の正面に設置予定)
- ・外国語スタッフの業務内容:県内各観光地への外国人観光客誘導(観光地案内、交通案内、宿泊施設・商業施設等の紹介など)
- ・対応言語:英語(予定)
- ・対応人数:1名/日を配置(2名交代を予定)
- ・開設時期:平成30年4月(予定)

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 現状

本県では海外との玄関口となる米子鬼太郎空港及び境港国際旅客ターミナル(DBSクルーズフェリー)の観光案内所に外国語対応可能な案内スタッフを設置しているが、空路(ソウル便・香港便)、海路(DBS、大型クルーズ船)、陸路(山陽方面等からの高速バス、レンタカー等)の交通網が集約される米子駅の現案内所は、外国語対応可能なスタッフが配置されていないため、外国人観光客のニーズに十分な対応ができていない。

(2) 新たな環境変化と対応

- ・平成30年の山陰デスティネーションキャンペーン(DC)、伯耆国「大山開山1300年祭」及び平成31年のアフターDCにより、インバウンドも含め、西部圏域を入口にした県内への更なる観光入込みが期待される。
- ・この好機にあわせ、平成32年度のJR米子駅建替工事開始までの2年間に外国人観光客案内に空白を作ることなく、交通の要所である米子駅から県内への周遊促進を図るため、JR米子駅の外国人観光案内所運営を支援する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7638）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
旅情あふれる「鳥鉄の旅」創造事業	27,767	36,017	△8,250				27,767	
トータルコスト	35,712千円（前年度43,965千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付事務、契約事務							
工程表の政策目標（指標）	JR等と連携した観光誘客、近県との広域連携の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「瑞風」「天地（あめつち）」「昭和」などの観光列車をはじめ、日本の原風景とも言える鉄道沿線に広がる農山漁村、初めて訪れてもどこか懐かしさを感じる駅舎、ふと降り立った駅でふれあう地元の人々など、鉄道で巡る旅ならではの楽しみ方、鳥取県ならではの心創りだすノスタルジックな鉄道の旅「鳥鉄の旅」の取組を推進する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
1. 鳥鉄の旅ツアー創造支援事業	10,000	
県内の鉄道を巡る旅情や楽しみ方を紹介したパンフレットの作成	3,200	鳥取県の鉄道で巡る旅だからこそ味わえる「鳥鉄の旅」へ誘うガイドブック「鳥鉄ノススメ」を、観光列車「瑞風」、「天地」、「昭和」など新たに登場した鉄道の魅力を盛り込んで改訂する。
雑誌等を使ったPR	1,800	「鳥鉄の旅」の魅力を全国にPRするため、新聞、雑誌社等の県内視察誘致や新聞、雑誌に広告記事を掲載する。
JRと連携した観光イベントの開催等	2,000	JR西日本と連携した駅頭観光誘客イベントの開催、JR西日本月刊情報誌「西NAVI」等への記事掲載など情報発信を行う。
その他	3,000	鉄道車両内で観光パンフレット等を配布する。
2. 鳥鉄の旅魅力造成支援事業	5,000	鉄道沿線おもてなしや県内のJR、若桜鉄道、智頭急行等や鉄道に関連した観光メニューの造成、観光素材の磨き上げを行い、鳥取県ならではの鉄道の旅を楽しむ魅力づくりを実施する。 （取組例）・観光列車のアテンダント育成・歓迎用横断幕等の制作・季節の花等による沿線景観整備・停車駅等での郷土芸能披露（補助金概要）・県内鉄道事業者、観光事業者、市町村向け 補助上限：500千円 補助率：1/2 ・地元団体向け 補助上限：200千円 補助率：10/10
3. 観光列車運行対策事業	12,767	
観光列車「天地」の整備負担金	10,000	観光列車「天地」の伝統工芸品による車内装飾に対して負担（1/3）（対象：JR西日本米子支社）
運行に合わせた歓迎イベント開催	1,500	観光列車「天地」初便（H30.7月）に合わせ停車駅の鳥取駅、倉吉駅、米子駅で歓迎イベントを開催する。（沿線でのおもてなしは、「鳥鉄の旅魅力造成支援事業」を活用して実施）
東浜駅周辺環境整備に係る補助金 ※H28に債務負担行為設定済	1,267	東浜駅周辺トイレ、レストラン等の環境整備に係る町実質負担に対して支援（支援対象：岩美町）
合 計	27,767	

3 これまでの取組状況、改善点

これまでJR西日本と連携して情報発信や旅行商品造成の取組を行ってきたが、さらに連携を強化して、地域をあげてのおもてなしや鉄道施設、鉄道沿線の景観、沿線周辺の観光素材の磨き上げやツアー造成に取り組み、鉄道をテーマとして鳥取ならではの旅を創造する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課（内線：7239）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
サイクリストの聖地 鳥取県整備事業（サイクルツーリズム推進事業）	25,650	29,500	△3,850			〈基金繰入金〉 25,650		

トータルコスト 32,801千円（前年度 36,653千円） [正職員：0.9人]

主な業務内容 外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整

工程表の政策目標（指標） サイクリング等ニューツーリズムの推進、近県との広域連携の推進

事業内容の説明 【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

1. 事業の目的・概要

近県と連携した広域サイクリングルートを活用した相互誘客をはじめ、サイクルツーリズムの全県展開の進展及び鳥取西道路全線開通後の国道9号沿線の活性化に向けて、県内横断のルート設定及び整備のほか、サイクリストの利便性向上なども進め、「サイクリストの聖地鳥取県」の実現を目指す。

2. 主な事業内容

(1) 鳥取県を東西に横断するサイクリングルートの設定を進めるとともに、路面標示等の環境整備等を行う。

＜東西横断ルート設定、整備スケジュール案＞

- ・由良～青谷 H29ルート設定、H30路面標示整備（予定）
- ・鳥取～東浜 H29ルート設定、H30路面標示整備（予定）
- ・青谷～鳥取 H30ルート検討 ※鳥取西道路の進捗に合わせルート決定及び路面標示整備等を進める。

(2) 安心安全なサイクリング環境の一層の充実を図るため、県内ルート設定に合わせて、サイクリスト休憩所等の支援協力店の拡大のほか、バイクスタンド等の設置やサイクルトレイン・バス等の試行的取組への支援を行う。

(3) サイクルツーリズムに取り組む近県（広島、島根、愛媛）と連携した広域サイクリングルートを活用し、相互誘客を進めるとともに、中国5県で連携し中国地方及び四国地方が国内外から何度も走りに行きたくなる魅力的なサイクリングエリアとなることを目指した情報発信等を行う。

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
新規サイクリングルート検討及びマップ作成	4,000	新規サイクリングルートの安全性などの調査、ルート検討のための試走及び設定したルートのマップ作成等を行う。
路面標示・看板設置	15,150	H29年度中にルート設定見込の中部及び東部のルートについて必要な路面標示等の整備を行う。
協力店舗の拡大及びサイクリストの利便性向上	2,000	・サイクリスト休憩所へのバイクスタンド、修理工具等の設置や自転車積載タクシーへのキャリア貸与 ・輸行バックの貸出【新規】
サイクルトレイン・バスの試行	500	交通機関と自転車との乗り換えができる環境整備に向けた試行的取組を支援する。
近県連携による相互誘客	2,000	・愛媛から大山に至る広域サイクリングルート（しまなみ海道～やまなみ街道～山陰）を活用し、相互誘客に取り組む。 ・中国地方が魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、誘客促進のため中国5県が連携して受入環境の整備及び情報発信に取り組む。（中国地方知事会広域連携部会サイクリング部会で検討）【新規】
サイクリングを活用した海外誘客	2,000	台中市で開催される国際花の博覧会開催時期（11月～）に合わせて訪台し、サイクルツーリズム紹介ブースに出展して本県のサイクリングルート及び取組をPRする。
合 計	25,650	

3. これまでの取組状況、改善点

- ・県西部地域においては、東・中部に先行して複数のサイクリングルートで案内標示や休憩スポットの整備など、サイクルツーリズムの取組が進められてきた。
- ・4県（愛媛県・鳥取県・島根県・広島県）の連携による、しまなみ海道からやまなみ街道を経て宍道湖・中海・大山に至る広域サイクリングルートを活用した誘客をはじめ、県西部から県中東部への横断ルート推進などサイクルツーリズムの一層の全県展開を図る。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光戦略課(内線:7239)

1目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ICTを活用した外国人個人旅行者(FIT)対応事業	2,324	16,321	△13,997	1,162			1,162	
トータルコスト	4,708千円(前年度 18,705千円) [正職員:0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の増加、利便性向上のための受入れ環境整備の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪れる外国人個人旅行者(FIT)の利便性向上を図るため、NTTドコモと連携したICT(情報通信技術)を活用した多言語観光ガイドを実施する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内 容
多言語観光ガイド	2,324	通訳案内士(山陰地域通訳案内士含む)等が電子メールにより多言語で県内の観光スポット、グルメ、二次交通等の案内を行う。 ・実施期間: H30.4月~H31.3月 ・対応言語: 英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語

3 これまでの取組状況、改善点

- ・鳥取県と(株)NTTドコモ中国支社の連携事業により、平成28年10月11日から12月31日及び平成29年7月14日から11月12日の期間、鳥取県を訪れる外国人観光客を対象に、遠隔地にいる通訳案内士(山陰地域通訳案内士含む)が、スマートフォンアプリを通じてテレビ電話や電子メールにより鳥取県内の観光情報や交通手段を英語、中国語、韓国語の3か国語で案内するサービスの実証実験を実施し、外国人観光客の受入環境の向上に取り組んできた。
- ・平成29年度の実証実験においては、電子メールによる問合せ利用が突出して多かったため、ニーズに対応したサービス提供と経費縮減に向けて、平成30年度からは問合せ機能を電子メールとして展開する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7239)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
宿泊施設魅力アップ事業	15,000	10,000	5,000				15,000	
トータルコスト	16,589千円(前年度 11,590千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	補助金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の増加、利便性向上のための受入れ環境整備の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県内の宿泊施設の魅力向上を図り、本県への誘客及びリピーター獲得につなげるため、県内宿泊施設等が実施する受入環境整備に対して支援する。

2 主な事業内容

補助金名	鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金		
補助対象者	県内旅館・ホテル等の宿泊施設 温泉旅館組合・ホテル旅館組合(観光客受入のための研修会開催のみ)		
補助率	1/2(上限1,000千円) ※和式トイレの洋式化のみ1/3(上限1,000千円)		
補助対象経費	ユニバーサル化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客室、食事処等を誰もが使いやすい環境へ整備するための経費(和室へのベッドの整備、食事処への机、椅子の整備) ・ テレビの字幕・手話放送、外国語放送導入に要する経費 ・ (新)和式トイレの洋式化 	
	魅力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験メニュー造成に要する経費(着物体験メニュー造成など) ・ 観光客受入のための研修会開催等に要する経費 	
予算額	15,000千円		

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県を訪れる観光客が心地よく滞在できるよう温泉地の魅力向上、高齢者や障がいのある方にも楽しく旅行いただける魅力的なコースの設定、宿泊施設のユニバーサル化等に取り組んでいる。

引き続き、誰もが楽しめる観光地づくりを目指すとともに、宿泊施設の受入環境整備及び魅力向上を進めることにより一層の誘客を図る。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課(内線:7239)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客受入推進事業	24,849	23,736	1,113	4,524			20,325	
トータルコスト	26,438千円(前年度 25,326千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の増加、利便性向上のための受入れ環境整備の推進							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪れる外国人観光客の利便性向上を高め、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大へつなげるため、官民が連携し受入環境の整備を実施する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
(1) 受入環境整備支援	15,000	県内宿泊施設、観光施設等における外国人観光客の受入体制整備に対する取組を支援する。
		補助金名 鳥取県外国人観光客倍増促進補助金
		補助対象者 市町村・広域連合、県内民間事業者(市町村・広域連合は案内看板の多言語化のみ対象)
		補助率 1/2(上限1,000千円)
		対象経費
		<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受入のための研修会開催 案内ツール(HP・パンフレット等)の多言語化 外国語表記看板、クレジットカード対応機器、音声翻訳を行うためのタブレット端末等の設置 Wi-Fi環境整備 消費税免税店舗の開設等に要する経費 ムスリム観光客のための環境整備 両替及びモバイルサービス等導入 宿泊施設における和室の洋室化 災害時における外国人観光客対応(多言語案内ツールの作成、対応訓練等)
		その他
		補助金交付は1事業者あたり同一年度2回まで可能
(2) (新) インバウンド向け路線バス乗り放題パスポート助成	1,600	外国人観光客向けの3日間の路線バス乗り放題パスポートの取組を支援する。(通常価格1,800円と外国人観光客向け価格1,000円の差額800円を補助 補助率10/10)
(3) 観光案内体制の整備	6,099	米子空港ビル(香港便・ソウル便)及び境港国際旅客ターミナルの観光案内所に案内人を配置するとともに、香港便利用者へアンケート調査を実施する。
(4) 観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上	950	多言語電話通訳サービスを提供する。(通年)
(5) 「おもてなし」の充実	1,200	県内空港等におけるチャーター便歓迎行事を実施する。
計	24,849	

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県が策定した鳥取県元気づくり総合戦略(平成29年7月改訂)に定めた外国人観光客の消費額や宿泊者数の目標を達成するため、本県を来訪する外国人観光客が心地よく滞在できるよう、県では、県内宿泊施設、観光施設等のWi-Fi環境整備、ホームページの多言語化、外国語表記看板等の支援、米子鬼太郎空港・境港国際旅客ターミナルの観光案内所に外国語対応可能な案内人の配置等を実施している。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7273）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
クルーズ客船受入推進事業	1,900	6,370	△4,470				1,900	
トータルコスト	4,284千円（前年度8,754千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、事業の企画、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の増加、クルーズ客船のオプションルツアー等による誘客推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

クルーズ船の鳥取港及び境港寄港による本県への経済波及効果を最大限に引き出すため、クルーズ船寄港時に、より多くの乗船客が県内観光地等に立ち寄るよう素材の売り込みを強化するとともに、周辺施設等を周遊するバスの運行支援により受入環境の充実を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
オプションルツアーコース提案支援事業	200	クルーズ船寄港時のオプションルツアーコースとして、県内観光素材を取り入れたコースの提案を支援する。 【補助対象者】民間事業者等 【補助対象経費】提案資料の作成費、旅行会社訪問に要する経費等 【補助率等】補助率1/2、補助金額の上限：200千円
周遊バス運行支援事業	1,700	港から周辺施設等への周遊バスの運行を支援する。 【補助対象者】市町村、観光関係団体等 【補助対象経費】運行経費から運賃収入を除いた経費 【補助率】1/2
合 計	1,900	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・クルーズ客船寄港時、オプションルツアー等による本県への誘客につなげるため、民間観光事業者等による船会社等へのプロモーション活動の取組を継続支援する。
- ・周遊バス運行支援（港から周辺施設等へのアクセス・利便性向上）により、ツアーに参加しないフリー客の県内誘客促進に引き続き取り組む。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7239）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光周遊促進支援事業	23,161	24,463	△1,302				23,161	
トータルコスト	26,339千円（前年度27,642千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の増加、受入れ環境整備の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年、旅行形態が団体旅行から個人旅行に変化している傾向を踏まえ、個人旅行者に対する利便性向上及び本県旅行商品の魅力アップにより本県への個人旅行者の増加を図るため、基幹交通拠点等を出発地として観光地を巡るプランの充実等を図る。

2 主な事業内容

(1) 境港国際旅客ターミナルと米子駅を結ぶリムジンバスの運行及び広報に対する支援
(3,515千円)

名称	事業主体	補助率
境港国際旅客ターミナルと米子駅との連絡バス	日ノ丸自動車株式会社	10/10

(2) 県内に発着又は宿泊する外国人旅行者向けに主要観光地等を周遊するタクシー等の運行及び広報支援（17,336千円）

補助対象者	民間事業者等
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

(3) 空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援（2,260千円）

名称	事業主体	補助率
鳥取因幡・Gバス	鳥取市観光コンベンション協会及び麒麟のまち観光局	1/3
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会	

(4) ガイドマップ「とっりのりもの総合案内」作成（50千円）

観光客に対して県内の観光二次交通情報をわかりやすく情報提供するため、東部、中部、西部のエリア別に観光二次交通と観光情報をまとめたガイドマップを作成する。

3 これまでの取組状況、改善点

観光二次交通については、観光客の県内移動の利便性を高めるだけでなく、観光地等を容易に周遊できるよう整備を進め、国内外を含め多くの観光客に利用していただき、大きな成果を得ている。

今後も、新たなコースを加えるなど滞在時間の延長及び県内周遊の促進、県内観光地等の魅力発信を推進する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課(内線:7239)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
ウインターイルミネーション支援事業	7,500	7,500	0				7,500									
トータルコスト	9,089千円(前年度 9,090千円) [正職員:0.2人]															
主な業務内容	補助金交付事務															
工程表の政策目標(指標)	中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要 観光入込客が減少する冬期に県内外からの誘客を図るため、鳥取砂丘で行うイルミネーション事業に対して支援を行う。</p> <p>2 主な事業内容 「鳥取砂丘イリュージョン」に対する支援</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助対象者</td> <td>鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2 ※鳥取市も同率で補助予定</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>7,500千円※鳥取市も同額を補助予定</td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 鳥取砂丘イリュージョンは平成15年度の開催以降、毎年多くの来場者があり、冬期の観光素材として定着している。 平成28年に鳥取市内の地域イベント等に取り組んでいる風土資産研究会、鳥取市内の商工団体、観光団体等により構成される鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)が新たに設立され、同年度から鳥取砂丘イリュージョンを開催している。</p>									補助対象者	鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)	事業内容	電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等	補助率	1/2 ※鳥取市も同率で補助予定	予算額	7,500千円※鳥取市も同額を補助予定
補助対象者	鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)															
事業内容	電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等															
補助率	1/2 ※鳥取市も同率で補助予定															
予算額	7,500千円※鳥取市も同額を補助予定															

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7239）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	10,394	10,050	344	350			10,044	
トータルコスト	16,750千円（前年度16,408千円）〔正職員：0.8人〕							
主な業務内容	広域的な観光客誘致活動、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	近県との広域連携の推進、観光キャンペーン等の展開による鳥取県の認知度の向上							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内外の観光関係団体・関連事業者等と連携協力して、スケールメリットを活かした広域情報発信、共同プロモーション等効果的な観光誘客を図る。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区 分	予算額	内 容
因幡・但馬・丹後観光協議会事業	500	県東部と兵庫県但馬地方、京都府丹後地方の関係市町・民間が連携して、広報宣伝等の観光誘客事業を行う。 総事業費2,000千円（本県負担：500千円）
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が団体が貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部を助成する。
鳥取・岡山観光連携事業	2,000	広域観光地図の改訂、両県連携による情報発信、宣伝活動、旅行会社への商品造成の働きかけ等を実施する。 総事業費4,000千円（本県負担：2,000千円）
「ディスカバーウェスト」中国五県連携観光振興事業	5,250	首都圏を始めとする大都市圏から中国地方への観光誘客を図るため、中国五県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」を通して、観光情報の発信等を行う。
鳥取自動車道活性化協議会事業	900	鳥取自動車道沿線市町・民間が連携して行う沿線地域の観光魅力発信、沿線を周遊する観光ルートの提案などの観光誘客事業を行う。 総事業費2,150千円（本県負担：900千円）
NEXCO西日本と連携したカードラリーの実施	450	NEXCO西日本と西日本の各府県が共同で実施するカードラリー「お国じまんカードラリー」に参加し、高速道路を活用した情報発信と観光誘客に取り組む。
(新) JAFと連携した観光キャンペーン連携事業	694	JAF（(一社)日本自動車連盟）が実施するデジタルスタンプラリーに参加し、鳥取県東部～中部の観光周遊コースを展開して、県外からの自動車利用の観光誘客を促進する。
計	10,394	

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

観光戦略課（内線：7421）

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

1目 観光費

西部総合事務所日野振興センター日野振興局（電話：0859-72-2080）

（総合事務所分は地方機関計上予算）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
とっとりスタイルエコ ツーリズム普及推進事業	19,653	22,136	△2,483	2,000			17,653																
トータルコスト	36,338千円（前年度38,827千円）[正職員：2.1人]																						
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等																						
工程表の政策目標（指標）	中部地震で落ち込んだ観光需要の回復、観光キャンペーンの展開等による鳥取県の認知度の向上、サイクリング等ニューツーリズムの推進																						
事業内容の説明	【「地方創生推進交付金」充当事業】																						
1 事業の目的・概要	多様な自然環境、歴史文化遺産、食材等、鳥取ならではの地域資源と各分野の人材を活用した体験型教育旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の潜在力や秘めた魅力をより深く来県者に伝えることにより、国内外の鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。																						
2 主な事業内容	<p>【1 国内誘客の推進 14,489千円（観光戦略課）】</p> <p>地域資源の観光メニュー化や規模拡大を行う団体を支援するとともに、旅行会社等と連携した情報発信、教育関係者へのプロモーション活動の強化を行う。</p> <p>(1) 教育旅行誘致 7,989千円</p> <p>①教育旅行誘致を目的とした宿泊助成 2,000千円 本県での修学旅行受入を積極的に進めるため、誘引要素として宿泊費助成を設け、総合的な誘致促進を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>県外の小、中、高等学校</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）</td> </tr> </table> <p>②教育旅行サービス向上等支援補助金 250千円【新規】 教育旅行における体験プログラムの充実やサービス向上を図るため、民間主体での自発的な連携、教育旅行サービス・品質向上を図るための取組等に対する支援。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>観光事業者、宿泊事業者等</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>補助率1/2（上限50千円）</td> </tr> </table> <p>③体験型教育旅行誘致促進業務補助金 5,739千円 教育旅行の誘致拡大に向け、視察旅行の開催等の積極的な売り込みを図るとともに、体験型教育旅行の受け入れ機能を強化する等の受地体制整備に取り組む鳥取県教育旅行誘致促進協議会に対し、運営費等を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県教育旅行誘致促進協議会運営費（観光関係団体等の受地体制整備、体験型教育旅行の誘致活動） ・教育旅行誘致コーディネーターの配置 <p>(2) 観光メニュー造成や受地整備に対する支援（スタートアップ型）2,000千円</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>1/2（上限500千円）</td> </tr> </table> <p>(3) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大への取組に対する支援（規模拡大型）4,500千円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）</td> </tr> </table>							補助対象者	県外の小、中、高等学校	補助額等	宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）	補助対象者	観光事業者、宿泊事業者等	補助額等	補助率1/2（上限50千円）	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額等	1/2（上限500千円）	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額等	1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）
補助対象者	県外の小、中、高等学校																						
補助額等	宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）																						
補助対象者	観光事業者、宿泊事業者等																						
補助額等	補助率1/2（上限50千円）																						
補助対象者	市町村、観光協会など																						
補助額等	1/2（上限500千円）																						
補助対象者	市町村、観光協会など																						
補助額等	1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）																						

【Ⅱ 滞在型観光「住まうように旅する」の推進 5,164千円（西部総合事務所、日野振興センター）】

エコツーリズム推進体制の維持と併せて、啓発活動や圏域の新しい観光素材の発掘等や全国に誇る地域資源である「たたら」の磨き上げに取り組む団体を支援し、「とっとりスタイルエコツーリズム」を定着させる。

(1) エコツーリズム推進組織への活動支援 2,800千円

事業主体	大山山麓観光推進協議会
事業内容	○情報発信：WEB、県外催事等での情報発信 ○圏域連携・商品づくり：圏域内イベントでのPR、素材の洗い出しと共有化、観光素材発掘PR、モニターツアーの実施 ○地域啓発：啓発セミナー開催等
補助率等	1/2（上限2,800千円）

(2) 山陰地域通訳案内士活用促進事業 750千円

山陰地域通訳案内士を活用し、外国人観光客を受け入れる企業の職員の案内能力向上を図るなど、国際リゾートとしての受入環境整備の取組を推進する。

事業主体・事業内容	大山圏域を訪れる外国人観光客受入のため、職員の多言語対応能力向上などの受入環境整備に取り組む企業等
補助率等	1/2（上限なし）

(3) たたら資源等の活用体験事業 1,614千円

①地域の誇り「たたら」の磨き上げ事業 564千円

日野郡内外の住民を対象にした「たたら」に関するミニたたら操業体験会（50人程度、1回）、小中学生等を対象とした学習会（1回）を開催し、「たたら」の普及啓発を図る。

②日野郡ニューツーリズム推進事業 1,050千円

事業主体	日野郡広域交流促進協議会
事業内容	日野郡特有の資源を活用したエコツーリズムメニューの造成や情報発信について助成する。
補助率等	1/2（上限1,050千円）

3 これまでの取組状況、改善点

教育旅行のプログラム開発や受入れ施設の拡大など、地域一体となって教育旅行誘致の取組を進めるとともに、地域資源の磨き上げやガイド育成のほか、主要地を結ぶ地域情報の収集や情報発信など、とっとりスタイルエコツーリズムの一層の全県展開に取り組んでいる。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)シンガポール市場誘客事業	9,000	0	9,000				9,000	
トータルコスト	16,945千円（前年度 0千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務委託							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年、訪日客数が増加し続けているシンガポールは、富裕層が多く、訪日リピーターの多い市場であり、シンガポール人観光客は、東京、大阪、京都といった、いわゆる「ゴールデンルート」の次の目的地を求めている。

鳥取砂丘、大山といった「美しい自然」、カニ、梨などの「美味しい食」、さらには「まんが王国」など、鳥取県にはシンガポール人観光客に好まれる素材があるため、これらを前面に押し出した誘客の取組を強化し、ゴールデンルートの次に選ばれる観光地を目指す。

2 主な事業内容

シンガポール市場の動向、シンガポール人観光客の嗜好を踏まえて、これまで連携している旅行社との取組を強化するとともに、訪日旅行者の9割を占める個人客に向けた情報発信を行う。

また、昨年10月に就航したシルクエア広島便を使ったツアーの誘致や、本県初となるシンガポールとの相互チャーター便の実施に向けて調整を進める。

<事業内容>

（単位：千円）

内 容	予算額
本県への誘客で連携している旅行社との取組 （市民向け説明会等の実施、シンガポール旅行博出展、小学校交流など）	1,600
東京都との連携による取組 （シンガポールメディア等招聘事業（モニターツアー）の実施など）	600
シンガポール人に響く情報発信 （インターネットを活用した情報発信など）	3,500
旅行社・航空会社視察ツアーの実施など	3,300
計	9,000

3 これまでの取組状況、改善点

シンガポールにおける本県の知名度は低く、これまで旅行博覧会への出展やレストランでの観光・食一体となったプロモーション、さらにはメディアの招聘など、地道な取組を行っているところである。鳥取砂丘、大山、梨、カニ、和牛、名探偵コナンなど、鳥取が一番のもの、鳥取にしかないものをPRすることで他地域と差別化を図り、来県する観光客を増やしていく。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7310）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東アジア地方政府観光フォーラム総会開催事業	23,000	9,173	13,827				23,000	
トータルコスト	29,356千円（前年度15,531千円）〔正職員：0.8人〕							
主な業務内容	事務局等との連絡調整、会議開催事務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

東アジア10地方政府の行政、観光業界等が集い、東アジア域内の交流推進と世界各地からの観光誘客を目的とした「東アジア地方政府観光フォーラム（以下「EATOF」）総会」を本県において開催する。

【EATOFの概要】

- 設立：平成12年9月（当時の江原道知事の発案により創設）
- 参加10地方政府
鳥取県（日本）、江原道（韓国）、吉林省（中国）、中央県（モンゴル）、ジョグジャカルタ特別州（インドネシア）、セブ州（フィリピン）、サラワク州（マレーシア）、クアンニン省（ベトナム）、シェムリアップ州（カンボジア）、ルアンパバン県（ラオス）
- 事務局：江原道（韓国）（組織体制：事務局長1名、専門員1名 計2名）
- 活動内容
 - ・EATOF総会、EATOF実務代表者会議を隔年で開催
 - ・参加地方政府の文化的イベントへの参加
 - ・海外主要観光展への共同参加
 - ・共同広報マーケティング活動（HP、パンフレット、DVD）

2 主な事業内容

EATOF2018総会の開催

- (1) 時期：平成30年8月（調整中）
- (2) 総会・歓迎レセプション会場：県西部地区（調整中）
- (3) 招聘人数：各参加地方政府最大10名程度（通訳含む）
- (4) 経費負担
 - ・鳥取県：日本到着空港から鳥取県への移動費、県内移動費、滞在費及び会場費
 - ・各参加地方政府：各参加地域から日本への渡航費
- (5) 開催日程

日程	内容
第1日目	各参加地域の鳥取県到着
第2日目	2地域間会議、常任委員会、トラベルマート（観光情報展示会） 歓迎レセプション
第3日目	知事会議、共同宣言、トラベルマート、現地視察、EATOFナイト
第4日目	各参加地域の鳥取県出発

3 これまでの取組状況、改善点

EATOF総会は、各参加地方政府が持ち回りで開催することになっており、本県は平成16年に一度開催している。

平成28年10月にインドネシアのジョグジャカルタ特別州で開催された総会において、次の鳥取県での開催が承認され、平成30年の本県二度目の開催が決定した。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7310)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源					
(新) 東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップを活用した誘客促進事業	2,000	0	2,000				2,000					
トータルコスト	3,589千円 (前年度0千円) [正職員: 0.2人]											
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整											
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現											
事業内容の説明												
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>2019年のラグビーワールドカップ開催、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催は、世界の視線が日本に集まるため、本県の魅力をPRする絶好の機会であり、来日する観光客の本県への誘客を目的に、旅行会社と連携した商品造成や認知度向上のためにプロガー等を活用した情報発信を行う。</p> <p>※プロガー: Web サイト上に日記や記録を公開・運営している人のこと。旅行情報を専門に掲載しているプロガーも多数存在する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>ラグビー競技人口が多いイングランド、アメリカや香港便により来県が可能なオーストラリアやニュージーランド等を対象として本県への誘客を図る。</p> <p>2018年度はラグビーワールドカップを主な対象として以下の事業を行う。</p> <p>(1) 有名プロガー等を招請して情報発信を行い、本県の認知度向上を図る。</p> <p>(2) 本県のフェイスブック等を使い、ラグビー好きでかつ日本好き等のターゲットを設定し本県の情報発信を行う。</p> <p>(3) 旅行会社と連携し、本県を含む旅行商品や関西からのオプションツアー等の造成を図る。</p> <p>※フェイスブック: 世界規模で利用される SNS サイトのひとつ。インターネットに接続したパソコンや携帯電話等からアクセスする。「仲間たちと交流を深めること」を目的としているのが特徴の一つ。</p> <p>※SNS: インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションを図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス (social networking service) の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。</p>												
<p>《参考》</p> <p>○ラグビーワールドカップ概要</p> <p>〔時期〕 2019年9月20日(金)～11月2日(土)</p> <p>〔会場〕 日本全国12ヶ所(札幌、釜石、東京、横浜、静岡、豊田、神戸、東大阪他)</p> <p>〔参加チーム数〕 20チーム</p> <p>〔試合数〕 48試合</p> <p>(1) プール戦 5チーム×4プール(プール内総当たり戦): 40試合</p> <p>(2) 決勝トーナメント 準々決勝/準決勝/3位決定戦/決勝: 8試合</p> <p>○鳥取に近い会場(神戸市、東大阪市)で試合を行う国</p> <table border="1"> <tr> <td>英語圏</td> <td>イングランド、アイルランド、アメリカ、南アフリカ他</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>アルゼンチン、イタリア、アフリカ地区代表、ヨーロッパ地区代表他</td> </tr> </table> <p>○ラグビー競技人口(出展: WEBサイト ラグビーHACK)</p> <p>1位: イングランド208万人、2位: アメリカ150万人、3位: オーストラリア69万人、4位: 南アフリカ42万人、5位: フランス37万人 ~中略~</p> <p>9位: ニュージーランド15万人 ~中略~ 12位: 日本12万人</p>									英語圏	イングランド、アイルランド、アメリカ、南アフリカ他	その他	アルゼンチン、イタリア、アフリカ地区代表、ヨーロッパ地区代表他
英語圏	イングランド、アイルランド、アメリカ、南アフリカ他											
その他	アルゼンチン、イタリア、アフリカ地区代表、ヨーロッパ地区代表他											

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光戦略課（内線：7310）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東アジア市場誘客事業	61,257	62,407	△1,150	28,278			32,979	
トータルコスト	70,791千円（前年度 77,945千円）[正職員：1.2人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪問する東アジア市場（韓国・香港・台湾・中国）からの外国人観光客を増加させることにより、県内観光消費額の増大と本県観光産業の一層の発展を図るため、本県の国際定期便や近隣空港定期便、県内空港へのチャーター便を利用し、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した情報発信やメディア招請などの外国人観光客誘客に取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
韓国	29,257	(1) ソウル駐在員の配置（2名） (2) 観光情報をTV番組やSNS、新聞雑誌等でPR (3) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (4) エアソウルやDBSクルーズフェリーと連携した情報発信・誘客事業
香港	30,000	(1) 香港駐在員の配置（1名） (2) 鳥取県フェア等の開催 (3) 観光情報をTV番組やSNS、新聞雑誌等でPR (4) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (5) 香港航空と連携した情報発信・誘客事業
中国	2,000	(1) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (2) 現地旅行博出展
計	61,257	

※ SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションを図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス (social networking service) の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

3 これまでの取組状況、改善点

当県インバウンド誘客の最重要市場である東アジア地域において、各市場への情報発信やメディア招請、旅行社と連携した旅行商品造成支援等などの誘客活動を実施しているところ。

韓国市場は、エアソウルと連携して機内誌、同社ホームページでの情報発信や搭乗キャンペーンを展開するとともに、個人旅行者を主たる顧客としている旅行会社と連携した情報発信、雑誌、テレビ等での情報発信に取り組んでいる。施策の実施に当たっては、エアソウルを利用して来県する韓国人観光客を対象としたアンケート結果を参考にして効率的に行うよう努めている。

香港市場も同様に、新聞、雑誌、ブロッガー、TV等を招請し情報発信を行うとともに、香港からの観光客を対象としたアンケート結果を参考に効率的な誘客対策に努めている。

今後も、増加が期待される個人旅行者向けのプロモーションを強化するほか、当県の魅力を最大限に情報発信し、対象市場における認知度向上のほか、リピーターの確保を図る。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7629)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
台湾市場誘客事業	10,000	6,000	4,000	1,500			8,500	
トータルコスト	17,945千円 (前年度 6,795千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標 (指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

訪日旅行客数が第3位であり、訪日リピーターの多い台湾からの観光客を誘致するため、情報発信やメディア招請、旅行社と連携した旅行商品造成支援等などの誘客活動に取り組む。

また、観光交流の機運が高まっている台中市からの観光客誘致を本格的に行うため、台中市における本県の観光情報発信などに積極的に取り組む。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

内容	予算額
台湾での観光プロモーション委託 (旅行博出展など)	2,500
メディアを活用したPR、旅行商品造成経費 (宿泊支援キャンペーン等)	2,000
ビジットジャパン・地方連携事業【広島・岡山・島根連携事業】(台湾での情報発信・メディア招聘等)	1,000
航空会社との連携によるPR (旅行情報誌での特集、旅行商品紹介、動画作成と配信 など)	2,500
台中市での観光情報説明会 (個人旅行者向け)	1,000
花博出展経費 (ブース装飾、アルバイト、パンフ増刷等)	1,000
計	10,000

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 台湾全体からの誘客

台湾からの観光客誘致については、旅行博でのPR、旅行会社への送客要請、ソーシャルメディアでの情報発信を中心に取り組んできた。来年度は航空会社との連携や観光情報説明会の開催などに新たに取り組む、来訪客の増加を目指す。また、チャーター便については、近年平均して2~3企画就航しているが、更なる就航を目指し、航空会社及び旅行会社への働きかけを強化する。

(2) 台中市との観光交流

平成29年10月に台中市旅遊局長と県観光交流局長が「観光交流協定」を締結し、相互のイベント参加や双方送客促進、チャーター便就航などを推進することとしている。

交流協定という絶好の機会を捉え、鳥取と台中とのチャーター便就航をはじめ観光面において鳥取県の知名度を高めるための施策に着手することで、台中市との観光交流を促進する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7629)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
伸びるASEAN誘客事業	14,100	14,100	0				14,100	
トータルコスト	22,045千円(前年度 22,048千円) [正職員:1.0人]							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務委託							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

訪日外国人観光客数の伸びが著しいASEAN(東南アジア諸国連合)からの誘客による本県観光産業の振興を図るために、現地旅行博等への出展や情報発信を行う。経済成長が著しく、訪日観光客数が急伸しているベトナム・フィリピンについては、ゴールドルート(東京～大阪)の次の訪問地として訪日地方旅行の先駆地域となることを目指す。

また、米子香港便のトランジット(乗り継ぎ)活用による誘客を図るため、メディア取材等を実施する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内容
タイ	5,000	(1) タイ現地プロモーション委託(旅行社セールス等) (2) 現地旅行博出展 (3) Facebookによる情報発信 (4) 鳥取・岡山ビジットジャパン地方連携事業(香港トランジット促進) タイ人気テレビ誘致
マレーシア	2,500	(1) 現地旅行博出展 (2) 旅行会社・メディア視察ツアー (3) 岡山県と連携した視察ツアー
ベトナム	4,100	(1) 現地旅行博出展 (2) ベトナム語パンフレットの作成 (3) Facebookによる情報発信 (4) 旅行会社・メディア視察ツアー
フィリピン	2,500	(1) 現地旅行博出展 (2) 旅行会社・メディア視察ツアー
計	14,100	

※Facebook・・・フェイスブック社が提供するソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)。さまざまな情報交換に利用されており、画像や動画の投稿、ほかの参加者とのメッセージの交換などができる。

3 これまでの取組状況、改善点

これまで韓国、香港、台湾、中国といった東アジアを中心に誘客を進めているが、将来のインバウンド需要を取り込むためにも、関西国際空港の定期便や米子香港便の就航で誘客の可能性の拡がった東南アジアに向けてプロモーションを強化するほか、各国のニーズに合った戦略的な事業を展開する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7310）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)世界に通用する鳥取県の魅力発信事業	6,500	0	6,500	3,250			3,250	
トータルコスト	9,678千円（前年度 0千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整・情報発信事務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

外国人観光客増加による県内観光消費の伸長と、本県観光産業のさらなる発展のため、近年急増している訪日外国人個人旅行者（FIT）に対して、県内の観光情報をホームページやSNSにより発信するほか、発信結果のデータ分析（嗜好等）等を実施し、更なる個人旅行者誘致に取り組む。

2 主な事業内容

外国人向け観光ホームページ（英語、韓国語、中国語（簡体字及び繁体字）等）で情報発信を行うほか、SNS（英語版フェイスブック及びインスタグラム）により観光地等の情報発信を行う。
事業費：6,500千円

3 これまでの取組状況、改善点

外国人向け観光ホームページやSNSにおいて、訪日に関心のある者にピンポイントに情報が届く仕組みを活用し情報発信を行うとともに、外国人の関心が高い記事（情報）の分析を行うことで個人旅行者の更なる増加を狙う。
鳥取砂丘、大山などの観光地だけでなく、伝統行事、郷土料理など地域文化の情報発信も行うことにより、日本文化に関心の高い外国人観光客の誘致を図る。加えて、伯耆国「大山開山1300年祭」などのイベント情報も積極的に発信する。

SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

※フェイスブック：世界規模で利用されるSNSサイトのひとつ。インターネットに接続したパソコンや携帯電話等からアクセスする。「仲間たちと交流を深めること」を目的としているのが特徴の一つ。

※インスタグラム：写真や動画の投稿に特化したSNS。スマートフォンで撮影した画像等を様々な加工し投稿・共有できる。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7629)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客送客促進事業	42,920	42,920	0				42,920	
トータルコスト	46,510千円 (前年度 46,510千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	関係機関との調整、補助金業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪問する外国人観光客の増加により、県内観光消費額を増加させ、本県の観光産業振興を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	内容	予算額
外国人観光客送客促進事業補助金	1 事業実施主体 訪日旅行を取り扱う旅行会社 2 補助対象事業 (1) 視察・モニターツアー実施経費 (2) 旅行商品の広報宣伝経費 (3) 販売促進ツール作成経費 (4) 旅行商品販売促進を自社ウェブサイトで行う場合の広報宣伝経費 (5) テレビホームショッピング番組放映に要する経費 (6) サイクリングツアーに係る経費 (7) トレッキングツアー及びウォーキングツアーに係る案内ガイド経費 (8) 貸切バスの借りに係る経費 条件: 県内1泊以上、上限2泊	27,920
外国人観光客誘致対策事業補助金	1 事業実施主体 国際定期航路利用促進協議会 2 補助対象事業 国際定期航路利用促進協議会が実施する外国人観光客誘致対策事業	15,000
計		42,920

3 これまでの取組状況、改善点

外国人観光客送客促進事業補助金活用による視察ツアーの実施により、星空ツアーが催行されたり、また、テレビホームショッピング番組放映により来県客数が増加するなど、同補助金は誘客促進に有効なものとなっている。

今後も同補助金を効果的に活用しながら、本県と定期便で繋がっている韓国や香港、訪日客数の伸びが著しい東南アジアなどから、一層の誘客を図っていく。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7221)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシアからの訪日観光客拡大事業	3,000	4,950	△1,950	1,500			1,500	
トータルコスト	6,178千円(前年度 8,129千円) [正職員:0.4人]							
主な業務内容	旅行商品造成・販売促進支援、広報業務委託							
工程表の政策目標(指標)	ロシア人観光客の倍増							
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】				
1 事業の目的・概要								
鳥取県へのロシア人観光客の更なる増加を促進するため、交流地域である沿海地方を中心としてロシアからの定期航路等を利用した誘客を行う。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
区分	予算額	内容						
観光プロモーション委託	2,000	ロシア国内で鳥取県の知名度を向上し、本県を訪問する観光客を増加させるため、沿海地方の広告代理店に委託し、現地プロモーションを実施						
ブロガー等招聘	1,000	You Tuber(動画共有サービスYouTube上で独自に制作した動画を継続的に公開する者)、パラブロッガー(影響力ある日記等を執筆している者)等を県内に招請し観光情報を発信						
計	3,000							
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県との交流地域であり環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーが停泊する沿海地方における観光客誘致を実施してきたところであるが、2016年12月の日露首脳会談を機に、平成29年からロシア国民(一般旅券所持者)に対する短期滞在ビザの発給要件が緩和され、ロシアからの訪日観光客が増加しており、本県へのロシア人観光客も増加している。(2017年1月～8月の累計では訪日ロシア人は47,800人と前年比4割増)								
引き続き、沿海地方の旅行会社へのきめ細かな情報提供を行うとともに、SNS等を活用した個人旅行者向けの情報発信を行い、本県への誘客を図る。								
環日本海定期貨客船航路利用促進費	4,600	4,600	0				4,600	
トータルコスト	6,984千円(前年度6,984千円) [正職員:0.3人]							
主な業務内容	関係機関等との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	環日本海定期貨客船航路(旅客)の自立・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーの旅客利用のうち、特に一層の利用促進が必要な日本からの利用者の増加を図るための支援を行う。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
区分	予算額	内容						
国際定期便利用促進協議会負担金	1,100	○グループ旅行支援:4名以上のグループに対して経費の一部を支援 ○修学旅行支援:修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援 ○情報発信事業						
シャトルバス運行委託費	3,500	国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバス運行を委託						
計	4,600							
3 これまでの取組状況、改善点								
日本人向けのDBSクルーズフェリーを利用した韓国・ロシア行き旅行商品の造成に取り組んできたが、より多様な商品の造成を図り、利用促進につなげる。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7310）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	37,226	45,205	△7,979	8,500		(雑入) 12	28,714	
トータルコスト	41,993千円（前年度49,974千円）〔正職員：0.6人、非常勤職員：2.0人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県への外国人観光客を増加させ、観光産業の振興及び県内発着の国際定期便（米子ソウル便、米子香港便、環日本海定期貨客船）などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容																														
広域連携国際観光推進事業負担金	11,480	山陰・中国五県、関西など、他府県と連携した外国人観光客誘致事業等に要する経費																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>目的・内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金</td> <td>4,300</td> <td>中国五県連携訪日観光事業推進等</td> </tr> <tr> <td>中国地方インバウンドフォーラム負担金</td> <td>2,000</td> <td>東アジア・東南アジア向けの観光客誘客活動</td> </tr> <tr> <td>京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金</td> <td>1,000</td> <td>ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客</td> </tr> <tr> <td>関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金</td> <td>800</td> <td>観光案内所の運営経費（情報発信・情報収集業務）</td> </tr> <tr> <td>東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金</td> <td>1,400</td> <td>東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF）地域交流促進</td> </tr> <tr> <td>国際観光振興機構負担金</td> <td>660</td> <td>国内外の観光情報提供等</td> </tr> <tr> <td>東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金</td> <td>820</td> <td>東京オリンピックを見据えた外国人観光客の地方への誘致</td> </tr> <tr> <td>山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金</td> <td>500</td> <td>レンタカーでの周遊促進事業</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,480</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予算額	目的・内容	中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	4,300	中国五県連携訪日観光事業推進等	中国地方インバウンドフォーラム負担金	2,000	東アジア・東南アジア向けの観光客誘客活動	京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客	関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800	観光案内所の運営経費（情報発信・情報収集業務）	東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,400	東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF）地域交流促進	国際観光振興機構負担金	660	国内外の観光情報提供等	東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	820	東京オリンピックを見据えた外国人観光客の地方への誘致	山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500	レンタカーでの周遊促進事業	計	11,480	
		区分	予算額	目的・内容																												
		中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	4,300	中国五県連携訪日観光事業推進等																												
		中国地方インバウンドフォーラム負担金	2,000	東アジア・東南アジア向けの観光客誘客活動																												
		京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客																												
		関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800	観光案内所の運営経費（情報発信・情報収集業務）																												
		東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,400	東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF）地域交流促進																												
		国際観光振興機構負担金	660	国内外の観光情報提供等																												
		東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	820	東京オリンピックを見据えた外国人観光客の地方への誘致																												
山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500	レンタカーでの周遊促進事業																														
計	11,480																															
JR西日本との連携事業	2,000	JR西日本、中国四国各県等と連携し、東アジア及び東南アジア市場へ誘客プロモーションを行う。																														
外国人観光客倍増促進補助金	1,000	県内事業者を対象に、外国人観光客誘客のためのプロモーション経費等に対して補助金を交付する。																														
多言語ホームページ管理・観光PRツール制作費	7,650	海外向け多言語観光ホームページ維持管理委託費及びPRツール制作等の経費																														
国際観光業務非常勤配置等	15,096	非常勤職員の配置及びその他事務費																														
計	37,226																															

3 これまでの取組状況、改善点

近隣各県や海外地方政府、民間事業者等と連携し、各市場への情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施している。

今後も関係機関と連携し、JRパスやレンタカーなどを利用した広域周遊の促進など、外国人観光客のニーズに合わせたプロモーションを展開する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光交流局管理 運営費	5,463	3,963	1,500				5,463	
トータルコスト	6,258千円 (前年度 4,758千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
観光交流局所掌事務に係る連絡調整、庁内外との連携等を推進するための事務的経費である。								
職員人件費	248,885	247,765	1,120				248,885	
事業内容の説明								
一般職員35名分の人件費である。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7639)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(終了) 観光客の心に響く滞在型地域創造事業	0	16,000	△16,000					
トータルコスト	0千円 (前年度 19,179千円)							
事業内容の説明 (終了) 「農山漁村滞在促進事業」(とっとり農業戦略課) に組み替えて実施するため								
(終了) とっとりの新たな旅づくり事業	0	4,320	△4,320					
トータルコスト	0千円 (前年度 5,115千円)							
事業内容の説明 (終了) 事業の目的を果たしたため								
(終了) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト支援事業	0	6,012	△6,012					
トータルコスト	0千円 (前年度 9,571千円)							
事業内容の説明 (終了) 事業の目的を果たしたため								
(終了) 宿泊促進WEB対策事業	0	22,500	△22,500					
トータルコスト	0千円 (前年度 24,884千円)							
事業内容の説明 (終了) 国内航空便等誘客促進事業に組み替えたため								
(終了) 未来に引き継ごう! 県民の歴史資産「三徳山」調査活用推進事業	0	4,021	△4,021					
トータルコスト	0千円 (前年度 7,995千円)							
事業内容の説明 (終了) 「観光情報提供事業」に一部組み替えて実施するため								
(終了) 「日本の旬 瀬戸内・山陰」キャンペーン事業	0	3,000	△3,000					
トータルコスト	0千円 (前年度 3,795千円)							
事業内容の説明 (終了) 平成29年度単年度事業として実施したため								
(終了) 「とっとり年は鳥取へキャンペーン」(観光団体向け観光需要回復支援事業)	0	10,000	△10,000					
トータルコスト	0千円 (前年度 10,795千円)							
事業内容の説明 (終了) 中部地震復興支援として平成29年度単年度で実施したため								

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(終了)災害時における外国人観光客対応支援事業	0	2,250	△2,250					
トータルコスト	0千円(前年度 3,045千円)							
事業内容の説明 (終了)「外国人観光客受入推進事業(鳥取県外国人観光客倍增補助金)」へ統合して実施するため								
(終了)外国人の心に響くコンテンツ制作・発信事業	0	3,000	△3,000					
トータルコスト	0千円(前年度 6,179千円)							
事業内容の説明 (終了)他の誘客事業に組み替えたため								
(終了)攻めるSNSインバウンドマーケティング事業(外国人個人旅行者(FIT)対策)	0	12,000	△12,000					
トータルコスト	0千円(前年度 15,179千円)							
事業内容の説明 (終了)他の誘客事業に組み替えたため								
(終了)平昌オリンピック・パラリンピックを活用した人・モノ交流活性化事業	0	5,000	△5,000					
トータルコスト	0千円(前年度 6,590千円)							
事業内容の説明 (終了)平成29年度単年度事業として実施したため								
(終了)東南アジア・ロシア市場誘客事業	0	4,000	△4,000					
トータルコスト	0千円(前年度 7,948千円)							
事業内容の説明 (終了)他の誘客事業に組み替えたため								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費

中部総合事務所地域振興局(電話:080-5622-3988)

1目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)フラダンス全国大会開催支援事業	3,000	0	3,000				3,000	
トータルコスト	3,795千円(前年度 0千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

中部地震からの復興をアピールし、県内外及び海外からの誘客を図り、また鳥取県中部が「フラダンスの聖地」となることを目指して、中部1市4町・関係機関が連携して開催するフラダンスの全国大会を支援する。

2 主な事業内容

フラダンス全国大会開催支援事業補助金【3,000千円】

事業主体が「モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フェスティバル日本大会(フラダンス全国大会)」を開催するために必要な経費の一部を補助する。

項目	内容
事業主体	MOKIFICT(モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フェスティバル・イン・センター・オブ・トトリ)実行委員会(予定) (統括 一般社団法人鳥取中部観光推進機構)
行事	○時期 平成30年9月7~9日(予定) ○会場 鳥取県中部(主会場:倉吉未来中心) ○来場者 延べ3,000人(想定) ○内容 コンペティション、エキシビション、ワークショップのほか、中部管内各地域でのフラダンスイベントや前夜祭の開催等
補助率	定額
補助上限額	3,000千円
対象経費	広告宣伝費、委託料等

3 これまでの取組状況、改善点

- ・フラダンスは、老若男女に関わらず親しまれており、また湯梨浜町では合併前の羽合町時代から米国ハワイ郡と姉妹都市提携を結び、ハワイに関連した町おこしを進め、毎年ハワイアンフェスを開催されるなど、ハワイやフラダンスとは縁の深い地域である。
- ・当該大会は、競技が行われる主会場だけでなく中部管内全体で展開され、中部広域観光ビジョンの目指す「癒し」とコンセプトも合致することから、中部の1市4町・関係機関が連携して行われるフラダンスの全国大会開催を支援することにより、福興が進む県中部への誘客を促進するため、県も協議に参加をしてきた。
- ・平成30年の山陰ディスティネーションキャンペーンにおいても、中部のシンボリックイベントとして発信力も高く、多くの誘客及び地域での交流が見込まれる。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費〈地方機関計上予算〉

観光戦略課（内線：7239）

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3987）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツツーリズム推進事業（ウォーキンググリゾートの推進）	9,596	15,117	△5,521				9,596	
トータルコスト	11,980千円（前年度17,502千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	事業企画・委託事務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	ウォーキングを活用した地域づくりとインバウンドの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

ワールド・トレイルズ・カンファレンス（WTC）鳥取大会の成果を活かして、世界に通用するウォーキングコースの整備を進め、ウォーキング等を活用した地域づくりとインバウンドの推進を図る。

また、県中部で開催されるウォーキング大会を通じて、関係団体・住民ボランティアと一丸となって、鳥取県中部地震からの復興と元気な鳥取県を国内外に発信する。

2 主な事業内容

(1) 世界に通用するウォーキングコースの整備 6,000千円

ア 旅行商品化への支援（5,500千円）

WTC鳥取大会のコース等を磨きあげ、旅行商品化を図る市町を支援する。

事業主体	中部5市町、市町観光協会
補助対象	①環境整備（コースサイン設置、植栽、ガイド養成、コースマップ作成等） ②旅行商品の造成、プロモーション等
補助率等	1/2（上限2,000千円/市町・市町観光協会（2カ年（平成29・30年度）））

イ ロングトレイル策定イベントの開催（新）（500千円）

県内を横断するロングトレイルルートを策定したことを契機に、地域の方々にロングトレイルに親しんでいただくとともに、東部・西部地区と連携して山の日全国大会に向けて機運を盛り上げる。

委託先想定	ウォーキング関係団体
委託内容	イベントの企画・実施等

(2) ウォーキング大会への支援 2,800千円

国際的な大会へとステップアップを図る大会を支援する。

大会名称	SUN-IN未来ウオーク	SUN-IN未来100kmウオーク
時期	6月2日～3日	11月（予定）
事業主体	SUN-IN未来ウオーク実行委員会	NPO法人未来
参加目標	3,000人以上	100～200人
補助対象	大会運営費、広報宣伝費等	大会運営費、広報宣伝費等
補助率等	定額（上限1,800千円）	1/2（上限1,000千円）

(3) ウォーキングリゾートとっどりの情報発信（新） 796千円

次世代トレイルリーダーの育成・情報発信事業（平成29年度実施）で制作したドキュメンタリーの日本語版DVDを制作、地元テレビ・イベント等で放映し、鳥取県の自然・トレイル等の情報発信を推進する。

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 平成28年10月に、トレイル（自然歩道）による地域づくりの国際会議と県中部一円のウォーキング大会「第6回WTC鳥取大会」（主催：WTC鳥取大会実行委員会）を日本で初めて開催し、世界33カ国・地域から延べ4,500人が参加した。

(2) ウォーキングコースへの高い評価を得た一方で、コースサインやガイドの不足、継続的に受入可能な旅行商品の造成が課題となった。

(3) WTC鳥取大会の成果やネットワークを活かして、世界に通用するコースの整備や人材育成に取り組むとともに、県内を横断するロングトレイルの策定を行うなど、地域の自然や歴史を活かしたウォーキングによるツーリズムを推進した。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費

中部総合事務所地域振興局(電話:080-5622-3988)

1目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部ふるさと広域連合との広域観光連携推進事業	15,500	15,500	0				15,500	
トータルコスト	23,445千円(前年度 23,448千円) [正職員:1.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務、企画調整							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取中部ふるさと広域連合(以下「広域連合」という。)が策定した「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を飛躍的に発展させるため、広域連合と連携して中部圏域の広域観光やインバウンド対応を担う一般社団法人鳥取中部観光推進機構の強化を図るとともに、観光地域づくり、観光交流人口の拡大等を図る。

2 主な事業内容

(1) 鳥取中部圏域広域観光連携推進事業【15,000千円】

広域連合が「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を飛躍的に発展させるために、マーケティング等の強化を図りながら県施策と連携して実施する観光誘客事業について必要な経費の一部を補助する。

項 目	内 容
事業主体	広域連合
補助率	1/2
補助上限額	15,000千円
対象経費	人件費、広告宣伝費、委託料、プロモーション旅費 等

(2) 県職員の駐在に要する経費【500千円】

観光業務担当職員が広域連合に駐在するための使用料、役務費、負担金

3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成25年度から27年度までは鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業として、県の観光担当職員が広域連合に駐在し広域連合と連携した体制により、「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、役割分担及び情報共有により効果的に事業計画の作成や事業展開を行ってきた。
- ・「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、「鳥取中部広域観光戦略会議」において取組の方向性や戦略を協議・検討し「癒しの鳥取中部」を情報発信すると共に、中部・東部を結ぶ定期観光バス等の2次交通整備及び大山開山1300年との連携を検討、旅行商品の開発・プロモーション等を通し、圏域を超えた魅力創出と魅力発信、広域誘客にも取り組んだ。
- ・中部圏域が有している温泉、食、日本遺産、ウォーキングリゾート、国立公園等の観光資源をベースに東部・西部圏域、岡山県北部(蒜山)とも連携した観光地域づくりを進め、一元的に情報発信するなど日本版DMOの強化等を図り、戦略的に国内外から観光客誘致を促進する。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所地域振興局(電話:0858-23-3987)

1目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業	500	500	0				500	
トータルコスト	1,295千円(前年度 1,295千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 倉吉市出身で倉吉市名誉市民でもある故・第53代横綱琴櫻(先代佐渡ヶ嶽親方)を記念して開催される櫻杯争奪相撲選手権大会について、歴史・伝統に根差した地域振興を図り、賑やかで活力ある地域づくりにつなげるため、開催を支援する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 第40回櫻杯争奪相撲選手権大会(倉吉市) (2) 第34回わんぱく相撲全国大会派遣(両国国技館)</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 ・ 昭和54年に第1回を開催した。県内外からの参加者(小・中学生)や佐渡ヶ嶽部屋などの関係者を迎え、中国地方有数の相撲大会として定着している。 ・ 第33回わんぱく相撲全国大会(平成29年7月開催)では、鳥取県代表選手が個人戦で第3位(関脇)が誕生し、好成績を収めた。</p>								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3987）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部振興活動費	2,678	2,849	△171				2,678	
トータルコスト	8,240千円（前年度 8,413千円）[正職員0.7人]							
主な業務内容	地域づくり団体・関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

中部圏域の振興を図るため、地域資源の活用、広域観光、三徳山世界遺産登録運動等について、地域住民及び地元自治体等と連携して取り組む。

2 主な事業内容

- (1) 地域住民・団体による地域資源を活用した地域づくり活動との連携・支援（自然・歴史・文化・景観等）
- (2) 広域観光の推進等による国内外からの誘客推進
- (3) ウォーキングを活用した地域づくり
- (4) 三徳山世界遺産登録運動の推進
- (5) 鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）中部地区事業等、文化振興の推進 など

3 これまでの取組状況、改善点

- ・ 鳥取中部ふるさと広域連合との連携強化や、（一社）鳥取中部観光推進機構への参画等を通して、中部圏域全体の広域観光の取組を推進した。
- ・ ウォーキングを通じた誘客を目指して、ウォーキングリゾートの取組を推進した。
- ・ 三徳山の世界遺産登録に向けて、推進協議会の情報発信部会の事務局を担い、広報・啓発・地域活動の支援等を推進した。
- ・ トットリズム実践団体、（公財）とっとり県民活動活性化センターや鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）中部地区事業とも連携して、各種地域活動との連携・支援を実施した。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9371）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	一般財源	
伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業	183,079	96,332	86,747	68,178		114,901		
トータルコスト	245,050千円（前年度 153,558千円）[正職員：7.8人]							
主な業務内容	イベント企画運營業務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	伯耆国「大山開山1300年祭」事業実施、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会等運営、伯耆国「大山開山1300年祭」の情報発信を推進する。							
事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」及び「鳥取県元気づくり推進基金」充当事業】								
1 事業の目的・概要								
<p>全国に向けた大山（圏域）の魅力のPR、さらなる観光誘客の促進を図るとともに、1300年の歴史・文化・自然等を継承し、次の100年に繋がる大山圏域のレガシー（遺産）を作り上げていくため、大山圏域の官民が一体となって伯耆国「大山開山1300年祭」の取組・イベントを展開する。</p>								
2 主な事業内容								
<p>伯耆国「大山開山1300年祭」各プロジェクト事業（実行委員会主催事業及び市町村協働・連携事業）、民間の自発的取組等を通じ、圏域の盛り上げ、国内外へのPRを展開する。</p>								
<事業展開のイメージ>								
(1) 地域が一体となった盛り上げ								
<p>地元（大山寺・大神山神社等）が主催する人々が抱く大山への祈りを体感いただく「大山への祈りのステージ」の取組（開創法要、もひとり神事等）に併せ、歴史・文化・自然といった大山の魅力を堪能する「大山からの恵みのステージ」の取組を官民、地域が一体となって実施する。</p>								
(2) シーズンを通じた展開								
<p>中核期間である5月から11月までの間に、大山圏域で毎週のように催事・イベントを開催し、どの時期に観光客が訪れても、大山の魅力を味わっていただけるようイベントスケジュールを編成する。</p>								
(3) 次の100年に向けた大山圏域の観光振興、地域活性化								
<p>1300年祭を足掛かりとし、大山圏域の新たな地域資源・魅力を掘り起し、磨き上げ、観光資源化等を推進するとともに国内外にPRすることで、圏域のさらなる観光振興、地域活性化を図っていく。</p>								
<p>※中核となる催事「第3回『山の日』記念全国大会」では、「山を守る聖地」大山から山と共に生きる意義を、また「記念式典」では、自然と共生してきた大山1300年の文化・歴史等を全国に発信する。</p>								
<実行委員会事業費>287,714千円〔負担割合：県1/2、市町村1/2〕（単位：千円）								
事業区分	全体事業費	県負担額	市町村負担額					
伯耆国「大山開山1300年祭」主催事業	106,900	53,450	53,450					
市町村協働・連携事業	56,160	28,080	28,080					
大山圏域魅力向上に向けた民間団体等の取組支援	5,000	2,500	2,500					
1300年祭及び大山圏域の魅力の広報PR	54,654	27,327	27,327					
大山圏域の広域観光受入体制・環境整備	50,000	25,000	25,000					
事務局経費	15,000	7,000	8,000					
合計	287,714	143,357	144,357					
<記念式典事業費>39,722千円〔県10/10〕（単位：千円）								
事業区分	全体事業費	県負担額	市町村負担額					
伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典等関係事業	39,722	39,722	0					
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>大山圏域の経済団体・観光団体・行政が参画する伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会での議論を踏まえ、大山の恵み、緑、星、水と食といった切り口から大山の多様な魅力の掘り起し、磨き上げに取り組んでいるところ。1300年祭を足掛かりとして、さらなる観光誘客促進、圏域の発展が図れるよう、国内外に向けた情報発信、大山のブランド化等にも継続して推進していく。</p>								

4 事業概要

(1) 伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会主催事業 ※主なもの

事業名	内容	関係市町村
大山の恵みを感じるプロジェクト		
特別展「大山山麓の至宝」	伝説の刀工「伯耆安綱」の刀剣や大山圏域の自然や文化の豊かさをアピールする特別企画展を開催	米子
1300本のたいまつ行列	夏とは異なる趣きで「炎の河」の情景を秋にも演出	大山
謎解き宝探しゲーム	大山寺地区や大山山麓の観光地等を舞台に、謎解きと宝箱探しを組み合わせた体験型ゲームイベント	大山・米子・境港・日野・倉吉
緑のプロジェクト		
皆生・大山 SEA TO SUMMIT 10th アニバーサリー	10周年を記念し拡大実施。全国の開催地が集い、将来の展開等を議論する SEA TO SUMMIT サミットも併催	米子・大山
新しい「大山詣り」ホーリートレイル大会	日本遺産のストーリーを現代に残す3つの大山古道から一斉に大山寺を目指すトレイルイベント	大山
大山「星」のフェスティバル	プラネタリウム、星空鑑賞会、トークイベントなどで大山山麓から望む星空の魅力をPR	米子・大山・南部・伯耆・江府
大山の大献灯	大山夏の風物詩「お盆の大献灯」を期間拡大し実施	大山
水と食プロジェクト		
大山の恵み PR 事業	記念料理のPR、観光とグルメのモデルコースの雑誌掲載、県外での大山山麓の食のプロモーション等	西部市町村
大山ワンダーフォーラム	「農と食のフェスタ」と一体的に開催し、大山の魅力の集大成をアピールするクライマックスイベント	西部市町村

(2) 伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念式典

区分	開催時期	開催場所	参集者	内容
記念式典	8月	米子市公会堂他	約1,000名	記念セレモニー・フォーラム等
レセプション		大山周辺	約100~150名	大山の恵みの料理提供・アクション等

(3) 市町村協働・連携事業 ※主なもの

事業名	内容	実施市町村
大山の恵みを感じるプロジェクト		
大山・三徳山協働誘客事業	1300年以上前からの大山・三徳山の歴史の紹介展示、三徳山行者太鼓と大山僧兵太鼓の合同演奏の開催等	大山・三朝
米子城・地藏信仰活用誘客促進事業	日本遺産のストーリー、地藏信仰を体感する地藏札所・祠等を巡るウォーキング、米子城ライトアップ等	米子
古代ロマン観光周遊ルートサミット	古事記等、古代神話を活用した観光まちづくりに取り組む地域が集まり、周遊ルート構築・PR	南部
奥日野たたら製鉄体験	AR技術を活用した都合山たたら遺跡のトレッキング、たたら製鉄体験によりたたら文化の魅力を体感	日野
緑のプロジェクト		
奥大山古道ウォーク	伝統の味覚、日本の原風景など奥大山の魅力を丸ごと堪能	江府
東大山古道トレッキング	大山・関金を繋ぐロングトレイル、船上山や大山滝を楽しむイベントなど東大山の自然・歴史の魅力をPR	倉吉・琴浦
水木しげるロードリニューアルオープニングイベント	竣工式典の開催とともに、妖怪パレード、AR妖怪との記念写真ラリーなどのイベントを開催。	境港
日本一のヒメボタル鑑賞	環境負荷低減と持続可能な観光誘客を両立させつつ、ヒメボタルとゲンジボタルの共演を鑑賞	日南
水と食プロジェクト		
地 Beer Fest 大山	1300年祭記念ビールの醸造等で大山の水の素晴らしさをPR	伯耆

(4) 大山圏域魅力向上に向けた民間団体等の取組支援（大山圏域魅力向上補助金の交付）

民間団体等が行う1300年祭の盛り上げ、圏域の魅力の掘り起し・観光資源化等の取組を支援。

(5) 1300年祭及び大山圏域の魅力の広報PR

- ・旅行ガイドブックや雑誌等での広報、パンフレット等作成、チューリップマラソン等でのPR
- ・圏域市町村の観光スポットの周遊を促進するスタンプラリー

(6) 大山圏域の広域観光受入体制・環境整備

- ・県西部圏域の広域観光連携体制の整備、大山山麓の周遊促進等

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9629）

1目 観光費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツツーリズム「サイクリングリゾート」推進事業	90,265	20,229	70,036		<42,400> 58,000	<雑入> 20,000	12,265	県費負担額 54,665
トータルコスト	100,594千円（前年度 30,561千円） [正職員：1.3人]							
主な業務内容	スポーツツーリズムの推進							
工程表の政策目標（指標）	サイクリングの環境整備やスポーツイベントの支援を行うとともに、サイクリングや登山による国内外の観光客誘致を進める。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
サイクリングコースの整備及び維持管理を行い、サイクリング誘客を促進するとともに、スポーツイベントの開催支援を行い、スポーツツーリズムの適地として地域のブランド化を図る。								
2 主な事業内容								
(1) サイクリング環境整備事業 84,265千円 (単位：千円)								
事業名	内容						予算額	
弓ヶ浜サイクリングコース維持管理	日野川左岸河口～夜見町区間の維持管理費						5,213	
弓ヶ浜サイクリングコース整備工事	夢みなとタワー～国道431号区間の整備費						78,672	
環境美化活動支援	沿線での環境美化等活動への支援						380	
(2) スポーツイベント開催支援事業 6,000千円 (単位：千円)								
名称（開催予定時期）	主催						予算額	
全日本トライアスロン皆生大会(7月)	皆生トライアスロン協会等						5,000	
皆生・大山 SEA TO SUMMIT(5月)	皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会						1,000	
3 これまでの取組状況、改善点								
「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」は、平成31年度末の完成を目指し整備中。 トライアスロン大会とSEA TO SUMMIT は国内発祥の地である上、注目度の高い大会であり継続して支援する。								
(新)大山・中海圏域で楽しむ「サイクリングツーリズム」推進事業	1,000	0	1,000			(基金繰入金) 1,000		
トータルコスト	1,795千円（前年度 0千円） [正職員：0.1人]							
主な業務内容	サイクリングツーリズムの推進							
工程表の政策目標（指標）	大山山麓でのサイクリングツーリズムを推進する。							
事業内容の説明								
【鳥取元気づくり推進基金】充当事業								
1 事業の目的・概要								
伯耆国「大山開山1300年祭」を記念し開催されるサイクリング大会を支援し、大山山麓が「サイクリングツーリズム」の適地であることを内外に発信する。								
2 主な事業内容								
鳥取・島根両県を跨ぐサイクリングイベントにおいて、鳥取県のサイクリング環境のPRに要する経費を支援する。								
名称	弁慶ライド2018							
主催等	実行委員会（構成団体調整中）							
期日	7月1日							
コース	大山寺から寺の釣鐘を弁慶が鱒淵寺まで一晩で運んだという伝説にちなみ、大山博労座-鱒淵寺-大山博労座200kmのコース							
予算額	1,000千円							
3 これまでの取組状況、改善点								
宍道湖・中海・大山に至る広域サイクリングルートを設定し観光客誘致に取り組んでいる。								

注) 起債額の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。県費負担額は、記載欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 大山山麓で楽しむ「スポーツツーリズム」推進事業	1,000	0	1,000				1,000	
トータルコスト	1,795千円（前年度 0千円） [正職員：0.1人]							
主な業務内容	スポーツツーリズムの推進							
工程表の政策目標(指標)	大山山麓でのスポーツツーリズムの推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
大山開山1300年を迎える大山山麓での更なる「スポーツ・ツーリズム」の推進に取り組む。								
2 主な事業内容								
大山山麓で開催されるスポーツイベントに高齢や障がい等の有無に関わらず、誰もが参加できるイベントとなるよう受入環境整備等に係る経費を支援する。								
・ユニバーサルアウトドアスポーツフェスタ（仮称）								
主 催	鳥取県アウトドアスポーツ協議会							
期 日	9月予定							
概 要	アウトドアスポーツ各種が体験できるイベント							
予算額	500千円							
・中海オープンウォータースイム								
主 催	中海オープンウォータースイム実行委員会							
期 日	6月24日							
概 要	「泳げる中海」を目指した環境活動10周年を記念して、平成23年から開催されている日本水泳連盟認定の大会							
予算額	500千円							
3 これまでの取組状況、改善点								
スポーツツーリズムの聖地として当地をPRするため、開催に係る経費を支援した。								
事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海振興費	10,054	10,235	△181			(雑入) 4	10,050	
トータルコスト	16,410千円（前年度：16,593千円） [正職員：0.8人、非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	二次交通（大山る一ぶバス）の整備支援、大山足湯整備補助金の支払い、大山寺参道にぎわい活性化事業補助金、観光客動向調査等							
工程表の政策目標(指標)	とっとりスタイルエコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
大山・中海エリアを訪れる観光客の利便性向上を図るため、観光二次交通の整備（大山る～ぶバスの運行支援）や大山寺参道の施設整備の支援を行うとともに、西部管内における国際リゾート推進に向けた外国人観光客の動向調査、観光情報の収集等を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金								1,500千円
(2) 大山足湯整備補助金（平成30年度分）								193千円
(3) 大山寺参道にぎわい活性化事業補助金（平成30年度分）								3,638千円
(4) 非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光商工情報収集等）								1,894千円
(5) 事務費								2,829千円
3 これまでの取組状況、改善点								
大山る一ぶバスの運行や大山寺参道の足湯整備等、観光客にとって、より地域の魅力を享受しやすい環境整備を進めてきた。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7122)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「2018台中国際花の博覧会」参加事業	13,069	0	13,069				13,069	

トータルコスト 17,836千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.6人]

主な業務内容 花博出展に係る企画・立案、関係部局等との連絡調整、資料作成・各種翻訳、PRブース準備・運営等

工程表の政策目標(指標) 双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

台湾台中市との友好関係を強化し、台湾での鳥取県の魅力をPRするために、「2018台中国際花の博覧会」に出展するとともに、同花博に併せて訪問団の派遣や郷土芸能披露、観光・物産のPR等を行う。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

項目	概要	予算額
花博への出展	出展期間: 平成30年11月3日~11月18日 (予定) 展示規模: 1ブース (5m×6m) 出展部門: 国際室内花コンテスト (屋内) 委託先: (一財)鳥取県観光事業団	7,800
訪問団の派遣	訪問日程: 平成30年11月上旬 訪問団構成: 県代表団、芸能団、民間関係者	2,844
郷土芸能披露等	時期: 訪問団派遣時 場所: 花博会場ステージ 内容: ステージイベント、鳥取県産品のプレゼント等	300
観光・物産PR	・鳥取県出展期間中、花博会場内に観光・まんがPRブース、県産品PRブースを設け広報を行う。 ・台中市内レストランで県産材を利用した料理を提供するレストランフェアを開催する。	2,125

(参考) 2018台中フローラ世界博覧会 (花博) 概要

概要: 国際園芸家協会 (本部: オランダのハーグ市) が認定する国際的な博覧会

開催時期: 2018年11月3日 (土) から2019年4月24日 (水) まで

開幕式11月3日 (土)

会場: 台中市内3会場 (后里馬場森林エリア、外埔エリア、豊原葫蘆公園エリア)

テーマ: 「開花の音に耳を澄ます」

来場者数 (予定): 約1000万人

日本からの出展予定自治体: 愛媛県、名古屋市、駒ヶ根市 (長野県)

3 これまでの取組状況、改善点

本県と台湾は、平成9年 (1997年) に梨穂木を輸出したことをきっかけに交流が始まり、青少年相互派遣や芸能団派遣などを行い、20年来の交流を積み重ねてきたところ。

平成29年10月には台中市と観光交流協定を締結し、観光交流に係るイベントへの相互参加や観光交流に関する情報提供への協力など、観光交流の推進に努めることとして合意した。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7030）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																																								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																									
(新) 米国バーモント州交流10周年記念事業	2,775	0	2,775				2,775																																									
トータルコスト	4,364千円（前年度 0千円） [正職員：0.2人]																																															
主な業務内容	交流10周年開催事業に係る企画・立案、バーモント州交流先との連絡調整、資料作成・翻訳、訪問団随行、現地での各種調整																																															
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																																															
事業内容の説明																																																
1 事業の目的・概要																																																
平成20年に米国バーモント州と「友好親善に関する覚書」を締結し、平成30年が10周年の記念の年に当たることから、同州との交流の継続・発展を図るため、記念事業を実施する。																																																
2 主な事業内容																																																
訪問団の派遣																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>時 期</td> <td colspan="7">平成30年度中</td> </tr> <tr> <td>訪問団の構成</td> <td colspan="7">行政団、芸能団、民間交流団</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="7">米国バーモント州</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td colspan="7">記念式典への出席、本県芸能披露 等各種交流事業</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td colspan="7">2,775千円</td> </tr> </table>							時 期	平成30年度中							訪問団の構成	行政団、芸能団、民間交流団							場 所	米国バーモント州							内 容	記念式典への出席、本県芸能披露 等各種交流事業							事業費	2,775千円						
時 期	平成30年度中																																															
訪問団の構成	行政団、芸能団、民間交流団																																															
場 所	米国バーモント州																																															
内 容	記念式典への出席、本県芸能披露 等各種交流事業																																															
事業費	2,775千円																																															
3 これまでの取組状況、改善点																																																
平成12年に鳥取県の視察団がバーモント州を訪問して以来、交流を進めてきている。平成17年にはバーモント州日米協会の関係者が来県し、鳥取県国際交流財団と姉妹組織協定を締結した。平成20年に平井知事がバーモント州を訪問し、バーモント州政府と国際親善に関する覚書を締結した。平成21年度からバーモント州への青少年派遣事業を実施し、同州を訪れた高校生はこれまでに139人にのぼっている。平成25年度からはバーモント州の青少年の来県交流がはじまり、青少年分野を中心に交流が深まっている。																																																
(新) 日本人ブラジル移住110周年記念事業	1,949	0	1,949				1,949																																									
トータルコスト	4,333千円（前年度 0千円） [正職員：0.3人]																																															
主な業務内容	ブラジルで開催される日本人ブラジル移住110周年記念式典への出席に係る事業																																															
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																																															
事業内容の説明																																																
1 事業の目的・概要																																																
海外移住の歴史的意義の再認識及びブラジルとの交流の継続、深化を図るため、県訪問団を派遣し日本人ブラジル移住110周年記念式典及びブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典に出席する。併せて、県民に対する啓発のため、県内でもパネル展等を実施する。																																																
2 主な事業内容																																																
(1) 訪問団派遣																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>訪問者</td> <td colspan="7">行政団4名程度（県議会、鳥取市、民間団も訪問を計画）</td> </tr> <tr> <td>日 程</td> <td colspan="7">平成30年7月19日～27日（予定）</td> </tr> <tr> <td>主な行事</td> <td colspan="7">7月21日（土）日本人ブラジル移住110周年記念式典（式典参加、日本祭り視察） 7月24日（火）ブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典（式典及び祝賀会出席）</td> </tr> </table>							訪問者	行政団4名程度（県議会、鳥取市、民間団も訪問を計画）							日 程	平成30年7月19日～27日（予定）							主な行事	7月21日（土）日本人ブラジル移住110周年記念式典（式典参加、日本祭り視察） 7月24日（火）ブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典（式典及び祝賀会出席）																						
訪問者	行政団4名程度（県議会、鳥取市、民間団も訪問を計画）																																															
日 程	平成30年7月19日～27日（予定）																																															
主な行事	7月21日（土）日本人ブラジル移住110周年記念式典（式典参加、日本祭り視察） 7月24日（火）ブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典（式典及び祝賀会出席）																																															
(2) 県内記念行事																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>時 期</td> <td colspan="7">平成30年6月～7月頃</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td colspan="7">移住の歴史や交流事業を紹介するパネル展及び映像上映会</td> </tr> </table>							時 期	平成30年6月～7月頃							内 容	移住の歴史や交流事業を紹介するパネル展及び映像上映会																														
時 期	平成30年6月～7月頃																																															
内 容	移住の歴史や交流事業を紹介するパネル展及び映像上映会																																															
3 これまでの取組状況、改善点																																																
10年ごとに実施される記念式典に訪問団を派遣しており、平成20年には日本人ブラジル移住100周年記念式典に参加するとともに、県人会関係者との交流を深めた。平成30年は移住110周年となり、県人会関係者の高齢化も進んでおり、若い世代との交流を進める必要がある。																																																

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7240）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「ロシアにおける日本年・日本におけるロシア年」交流促進事業	8,000	0	8,000	8,000				
トータルコスト	10,384千円（前年度0千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、随行・現地業務							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
平成28年12月、日露首脳会議において、平成30(2018)年は「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」とすることで合意され、両国において文化事業等が年間を通じて実施される。本県においても、これまでロシアとの交流事業の成果を活かし、国の支援制度を活用し、沿海地方、サンクトペテルブルク市との交流事業を実施する。								
2 主な事業内容								
事業	内容						事業費	
パレエ交流促進事業	沿海地方からパレエ交流団が来県。公演及び県内パレエ関係者との交流を行う。						3,000千円	
鳥取県の伝統をロシアに広める事業	サンクトペテルブルク市内で倉吉絃の展示会を行い、伝統文化の発信を行うとともに現地自治体との交流を行う。						5,000千円	
3 これまでの取組状況、改善点								
ロシア極東地域において様々な分野の交流事業等を実施し、鳥取県の認知度は高まってきた。平成30年に日露政府間で実施される「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」等、国レベルの交流の拡大を追い風に、交流の一層の発展を図る。								
(新)第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,250	0	1,250				1,250	
トータルコスト	10,784千円（前年度 0千円） [正職員：1.2人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、実務代表者会議、本会議への参加							
工程表の政策目標(指標)	環日本海における大交流新時代の拠点をめざし、当該友好地域（韓国江原道、中国河北省・吉林省、モンゴル中央県、ロシア沿海地方）との多様な分野での幅広い交流を促進し、戦略的な連携を構築する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
本県と本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、ロシア連邦沿海地方で開催される「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に鳥取県代表団を派遣する。								
2 主な事業内容								
(1) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加（10月（予定）・沿海地方開催）								
(2) 実務代表者会議（サミット事前準備会合）への参加（6月（予定）・沿海地方開催）								
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方が、平成6(1994)年より開催（平成12(2000)年からモンゴル中央県が参加）。これまで、サミットでの合意により、経済協議会、環境保護機関実務者協議会、マスコミ代表者会議等が設立された。さらに、DBS航路、米子ーソウル便の利用促進に対する相互協力等についても合意がなされるなど、各分野での相互連携、協力の契機となっている。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7240）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
多地域連携スポーツ交流事業	2,117	2,117	0				2,117																
トータルコスト	4,501千円（前年度 4,501千円） [正職員：0.3人]																						
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、来県者への随行・通訳等																						
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの合意事項に基づき、友好交流地域が開催するスポーツイベントへの参加等を通じ、多地域間の青少年の交流や相互協力の拡大を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>3地域（鳥取県、江原道、沿海地方）青少年スポーツ交流事業 ・バドミントン及び卓球のスポーツ交流（場所：沿海地方、時期：7月予定、15名程度）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>北東アジア地域において国際的なスポーツイベントが続くことから、スポーツを切り口とした地域振興や青少年交流に積極的に取り組んでいる。</p>																							
ロシア極東地域交流推進事業	1,175	2,510	△1,335				1,175																
トータルコスト	17,065千円（前年度 18,406千円） [正職員：2.0人]																						
主な業務内容	ロシア極東地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																						
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>ロシア極東地域との交流を推進するため、「青少年交流」、「交流地域での鳥取県PR」、「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 青少年交流</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">時 期</th> <th style="width: 20%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県青少年環境交流団のロシア沿海地方派遣</td> <td style="text-align: center;">7月頃</td> <td style="text-align: center;">5名程度</td> </tr> <tr> <td>鳥取県囲碁交流団のロシア沿海地方派遣</td> <td style="text-align: center;">9月頃</td> <td style="text-align: center;">5名程度</td> </tr> <tr> <td>ロシア沿海地方青少年柔道交流団の鳥取県受入</td> <td style="text-align: center;">8月頃</td> <td style="text-align: center;">5名程度</td> </tr> <tr> <td>ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県受入</td> <td style="text-align: center;">2月頃</td> <td style="text-align: center;">5名程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 交流地域での鳥取県PR 第9回鳥取県文化デイズ（時期：3月頃、場所：沿海地方）</p> <p>(3) 県民向けのロシア紹介 国際交流員によるロシア講座（ロシアの歴史・文化等の紹介、ロシア料理・手芸体験等）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>ロシア極東地域において様々な分野の交流事業等を実施し、鳥取県の認知度は高まってきた。平成30年に日露政府間で実施される「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」等、国レベルの交流の拡大を追い風に、交流の一層の発展を図る。</p>									内 容	時 期	人 数	鳥取県青少年環境交流団のロシア沿海地方派遣	7月頃	5名程度	鳥取県囲碁交流団のロシア沿海地方派遣	9月頃	5名程度	ロシア沿海地方青少年柔道交流団の鳥取県受入	8月頃	5名程度	ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県受入	2月頃	5名程度
内 容	時 期	人 数																					
鳥取県青少年環境交流団のロシア沿海地方派遣	7月頃	5名程度																					
鳥取県囲碁交流団のロシア沿海地方派遣	9月頃	5名程度																					
ロシア沿海地方青少年柔道交流団の鳥取県受入	8月頃	5名程度																					
ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県受入	2月頃	5名程度																					

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
韓国交流推進事業	5,461	6,365	△904				5,461	
トータルコスト	21,351千円（前年度 22,261千円）〔正職員：2.0人〕							
主な業務内容	韓国（江原道）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随 行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、 人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国（江原道）との交流を推進するため、鳥取県及び江原道の職員の相互派遣等を通じた様々 な分野における情報交換や江陵国際青少年芸術祝典への青少年団の派遣等を行う。併せて、琴浦 町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語学習者の発表大会を開催する。								
2 主な事業内容								
内 容				時 期	予 算			
江原道職員（1名）の受入や交流協議団の相互派遣等				年 間	3,665千円			
江陵国際青少年芸術祝典への青少年団（10名程度）の派遣				7月下旬	456千円			
琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会への助成（琴浦町と同額負担）				年 間	200千円			
「話してみよう韓国語」鳥取大会開催				12月頃	1,140千円			
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県と江原道間の相互理解の促進並びに人的ネットワークの構築に寄与している。平成31年 度には友好交流25周年を迎えることから、機運醸成と一層の交流発展を図る。								
中国交流推進事業	2,089	1,458	631				2,089	
トータルコスト	10,034千円（前年度 9,406千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	中国（吉林省・河北省・香港）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻 訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支 援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づく り、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
中国との交流を推進するため、友好交流地域である河北省、吉林省並びに米子鬼太郎空港に定 期便が就航する香港と青少年交流を実施する。								
2 主な事業内容								
内 容				時 期	人 数			
吉林省青少年交流事業（受入）				8月	10名程度			
（新）吉林省県費留学生受入事業（調査等のため関係者派遣）				—	5名程度			
河北省青少年植林交流事業（派遣）				8月	10名程度			
香港青年交流事業（受入）				未定	15名程度			
3 これまでの取組状況、改善点								
河北省とは昭和61(1986)年に友好提携、吉林省とは平成6(1994)年に友好交流の覚書、平成 29(2017)年に友好県省提携し、交流を推進してきた。これからは特に次代の交流を担う人材育成 を念頭に置き交流を推進する。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7122)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
モンゴル中央県交流推進事業	3,480	2,613	867				3,480																			
トータルコスト	9,836千円 (前年度 8,971千円) [正職員: 0.8人]																									
主な業務内容	モンゴル(中央県)との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																									
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																									
事業内容の説明																										
1 事業の目的・概要																										
モンゴル中央県との交流を推進するため、医療専門家の派遣、農業技術研修員の受入れを行う。また、平成26年度に創設した奨学金制度により、中央県出身者の県内大学への留学を支援する。																										
2 主な事業内容																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>時期</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療専門家派遣事業</td> <td>9月</td> <td>2名程度</td> </tr> <tr> <td>農業研修員受入事業</td> <td>9~10月</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>行政実務研修生受入事業</td> <td>2月</td> <td>3名程度</td> </tr> <tr> <td>中央県からの留学生への奨学金</td> <td>-</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>青少年受入事業</td> <td>7月</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>									内容	時期	人数	医療専門家派遣事業	9月	2名程度	農業研修員受入事業	9~10月	1名	行政実務研修生受入事業	2月	3名程度	中央県からの留学生への奨学金	-	1名	青少年受入事業	7月	7名
内容	時期	人数																								
医療専門家派遣事業	9月	2名程度																								
農業研修員受入事業	9~10月	1名																								
行政実務研修生受入事業	2月	3名程度																								
中央県からの留学生への奨学金	-	1名																								
青少年受入事業	7月	7名																								
3 これまでの取組状況、改善点																										
モンゴル中央県とは平成9年に友好交流の覚書に調印し、青少年、農業、医療分野などの交流を深めてきた。鳥取県モンゴル中央県親善協会等の民間団体や医療機関と連携しながら、交流を推進する。																										
台湾交流推進事業	1,034	2,446	△1,412				1,034																			
トータルコスト	10,568千円 (前年度 9,464千円) [正職員: 1.2人]																									
主な業務内容	台湾との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																									
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																									
事業内容の説明																										
1 事業の目的・概要																										
台湾台中市との交流を推進するため、台湾で日本語を履修する大学生を対象に、県内宿泊施設での職場体験を実施するとともに、中学生サマースクール団の派遣や鳥取県で開催される自転車イベント等への招聘を行う。																										
2 主な事業内容																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>時期</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外大学生インターンシップ(体験就業)受入</td> <td>7~8月</td> <td>50名程度</td> </tr> <tr> <td>台中市サマースクール団派遣(隔年相互派遣)</td> <td>7~8月</td> <td>10名程度</td> </tr> <tr> <td>(新)自転車交流事業</td> <td>5~6月</td> <td>10名程度</td> </tr> </tbody> </table>									内容	時期	人数	海外大学生インターンシップ(体験就業)受入	7~8月	50名程度	台中市サマースクール団派遣(隔年相互派遣)	7~8月	10名程度	(新)自転車交流事業	5~6月	10名程度						
内容	時期	人数																								
海外大学生インターンシップ(体験就業)受入	7~8月	50名程度																								
台中市サマースクール団派遣(隔年相互派遣)	7~8月	10名程度																								
(新)自転車交流事業	5~6月	10名程度																								
3 これまでの取組状況、改善点																										
梨穂木の取引を縁に始まった台中県との交流は、台中市となった以降も芸能団派遣や青少年の相互派遣が継続して実施され、本県の知名度向上と相互理解の深化に繋がっている。今後は同市とのこれまでの交流実績を基盤として、自転車を切り口とした観光交流等にも取組を拡大し、交流を推進する。																										

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	一般財源	
ジャマイカ・ウェストモアランド県 交流推進事業	19,970	20,669	△699			19,970		
トータルコスト	27,915千円（前年度 28,617千円） [正職員：1人]							
主な業務内容	ジャマイカ・ウェストモアランド県との各種交流事業 など							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等に繋がるような奥が深く継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明				【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】				
1 事業の目的・概要								
平成28年3月に姉妹提携を行ったジャマイカ・ウェストモアランド県との交流を推進するため、各種交流事業を実施する。								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
事業名	事業費	内 容						
職員派遣事業	1,638	JICAの青年海外協力隊として、県職員をウェストモアランド県に派遣する。〔期間：平成29年1月～平成31年1月 / 人数：1名〕						
青少年交流事業	4,774	両県の青少年を相互派遣し、文化発信・現地高校生等との交流を行う。〔人数：派遣・受入ともに各10名程度〕						
マラソン交流事業	9,499	鳥取マラソン(3月)とウェストモアランド県で開催される世界的に有名なレゲエマラソン(12月)に選手を相互派遣し、スポーツ交流を行う。〔人数：派遣・受入ともに各2名程度(男女1名ずつを想定)〕						
友好交流・国際貢献事業	3,059	当地で課題となっている分野へ本県の技術者を派遣し技術支援を行う。〔内容等今後協議〕						
ウェストモアランド県PR事業	1,000	ジャマイカイベントや多くの県民が触れる事ができる施設にウェストモアランド県の紹介コーナーを設置する。						
3 これまでの取組状況、改善点								
多彩な分野で交流を進め、両県の交流の絆を揺るぎないものとするとともに、2020年東京五輪におけるジャマイカ代表選手団の事前キャンプ地としての機運醸成を図る。								
ブラジル交流促進事業	6,870	9,681	△2,811				6,870	
トータルコスト	18,788千円（前年度 21,603千円） [正職員：1.5人]							
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務、ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等							
工程表の政策目標(指標)	ブラジルとの交流について、若い世代を中心とした交流活動の実施を通じて次世代の交流を担う人材を育て、ブラジル県人会との民間交流の活性化を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
本県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 技術研修員・留学生受入事業 (6,670千円)								
ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における技術研修、修学の場を設け、交流を推進するとともに、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。(研修員1名、留学生1名)								
(2) 中堅リーダー交流(派遣)、日本語指導員派遣事業 (200千円)								
・ブラジルへ中堅リーダー(2名)を派遣し、民間主体による自立した交流の活性化を図る。								
・第二アリアンサ鳥取村へ日本語指導員(教員1名)を派遣し、ブラジルとの交流推進を図る。								
3 これまでの取組状況、改善点								
留学生・研修生にとっては専門的な知識・技術を学ぶことはもとより、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており、帰国後のブラジル移住者の地位向上に貢献している。また、各事業とも世代交代が進む県人会の活動を活性化させるものとして、関係者からの評価も高い。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自治体職員協力交流事業	7,397	9,667	△2,270				7,397	
トータルコスト	8,986千円（前年度 11,257千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	研修機関等との連絡調整、委託契約事務 等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県の友好交流先との関係を強化するため、中国・吉林省、ジャマイカ・ウェストモアランド県の職員を研修員として受け入れる。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 受入人数：2名（予定：中国・吉林省1名、ジャマイカ・ウェストモアランド県1名）</p> <p>(2) 受入時期：5月中旬に来日し、全国市町村国際文化研修所で約1ヶ月の日本語研修を受講。その後、来県し翌年3月中旬の帰国まで県庁等で専門研修を受講。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○平成8年から受け入れを開始し、現在までに計34名を受け入れている。（内訳：吉林省18名、江原道10名、ウェストモアランド県2名、その他4名）</p> <p>○研修員は、帰国後も本県と派遣元地域との交流を継続し、深めていくうえで欠かせない人材となっている。</p>								
国際交流員活動費	66,456	70,723	△4,267			(雑入) 167	66,289	
トータルコスト	72,018千円（前年度：76,182千円） [正職員：0.7人、非常勤職員：15.0人]							
主な業務内容	国際交流員の雇用、民間国際交流事業への派遣、研修の企画実施等							
工程表の政策目標(指標)	地域に国際交流員を派遣することによって、県民の国際感覚の涵養、国際理解の促進を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>JETプログラム（外国青年招致事業）によって招致する国際交流員及び県独自の採用による国際交流員を配置し、地域レベルの国際交流の進展を図り、もって地域の国際化を促進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 15名の国際交流員を配置し、交流地域との間の交流事業において通訳、翻訳、連絡調整等を行うとともに、小学校、公民館等の要請を受けて国際理解講座等を実施し、地域住民の国際理解の推進を図る。</p> <p>(2) 県内に配置された国際交流員、外国語指導助手を対象に、県主催で新規来日者説明会、中間研修、通訳・翻訳研修（国際交流員のみ対象）などの研修を実施し、参加者の能力向上や業務の円滑化を図る。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>香港航空の米子－香港便やエアソウルの米子－ソウル便に係る利用促進への対応、平成29年度に締結した中国吉林省との友好県省協定の他、地域や県の国際関連事業の推進に取り組んでいる。</p> <p>《国際交流員の地域別内訳》</p> <p>韓国5名、中国3名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏2名、台湾2名 計15名</p>								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7030）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	69,097	49,064	20,033				69,097	
トータルコスト	73,864千円（前年度 53,833千円） [正職員：0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	多文化共生社会の実現に向けて、市町村、県内大学等と連携するとともに、鳥取県国際交流財団の活動を支援する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援、並びに多文化共生社会の推進のため、公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成等を行う。

平成30年4月の本部事務所の移転開設、基本財産等の運用益の減少、在留外国人の増加などの環境の変化に適切に対応し、期待される役割を果たすため、移転広報費や在留外国人向けの緊急情報システム等の構築に必要な経費を支援するとともに、一部事業の補助率の嵩上げを行う。

また、職員の給与改定に必要な経費を支援する。

2 主な事業内容

(1) 公益財団法人鳥取県国際交流財団への助成（68,146千円）（補助率10/10、3/4、1/2）

（単位：千円）

事業名	補助額	内 容（主な増減項目）
ア 多言語情報発信事業	1,218	ホームページ運営（239） メールマガジン配信（197） 機関紙発行（782）
イ コミュニケーション支援事業	9,954	日本語クラス運営（1,787） 国際交流コーディネーター配置（4名）（4,839） 専門通訳ボランティア派遣（医療通訳等）（870） 防災・災害時支援（防災教室）（73） （新）災害情報・緊急情報対応システム構築（2,171） （新）多言語相談業務（214）
ウ 人材の育成事業	713	専門通訳ボランティア育成事業（434） 日本語講師・ボランティア養成講座（279）
エ 県民の国際理解推進事業	8,369	米国バーモント州との青少年交流促進事業（8,369）
オ 私費留学生奨学金の支給	3,632	県内大学在籍の私費留学生への奨学金支給（3,632）
カ 事務所費、運営費	44,260	事務所運営（10,078） 移転広報費（1,404） 職員人件費（11人分）（32,778）（給与改定によりH29比1,407増） ※事務所運営費のうち4,031千円、職員人件費のうち8,969千円は、前年まで国際交流センター運営業務委託料（県土整備部予算空港管理費：H29 13,000）を充てていたもの。

(2) 多文化共生サポーター制度運用委託（951千円）

在留外国人が地域社会で円滑に生活を営み、地域住民との相互理解を深めながら多文化共生社会を推進するための支援者として多文化共生サポーターを任命、運用する制度を新設する。

3 これまでの取組状況、改善点

県全域を対象とした国際交流に係る公益法人として、在住外国人及び県民の国際交流支援や多文化共生社会の推進に取り組んでおり、関係機関との更なる連携を進めていく。

鳥取砂丘コナン空港の空の駅화의推進に伴い、同空港国際交流センターに置いていた本部事務所を、平成30年4月に鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）に移転開設することとしている。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7030）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内交流推進事業	741	2,500	△1,759				741	
トータルコスト	3,919千円（前年度 5,679千円） [正職員：0.4人]							
主な業務内容	市町村等が実施する国内交流事業等への人的支援や助言、補助金業務ならびに県外の鳥取県人会等との協働による情報発信等							
工程表の政策目標(指標)	国内交流の推進に向けて、市町村や民間団体が実施する新たな交流及び鳥取県発祥の伝統芸能を継承している地域との交流を支援するほか、県外の鳥取県人会との協働を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、全国各地の鳥取県とゆかりのある地域等と県内の市町村や民間団体との交流を推進する。								
2 主な事業内容								
(1) 国内交流補助金（500千円）（最大2年間支援可能）								
対象事業	・新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡大を含む） ・鳥取県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業							
事業実施主体	県内市町村（複数市町村による連携含む）及び民間団体							
補助率	1/2（上限額 500千円）							
補助対象経費	事業を実施するため必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等）							
(2) 市町村、県外県人会等との協働による情報発信（241千円）								
県外で開催される催事等における情報発信を実施								
3 これまでの取組状況、改善点								
国内交流の推進、県外で継承されている鳥取県発祥の伝統芸能等の継続発展を支援。また、県外県人会等との協働による効率的な情報発信等を実施。								
交流ネットワーク活用事業	39,162	39,346	△184			(収益事業収入) 6,000	33,162	
トータルコスト	43,135千円（前年度 43,320千円） [正職員：0.5人]							
主な業務内容	海外へ向けた情報提供業務の委託、東南アジアとの交流、国内、海外県人会との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
鳥取県とゆかりのある交流組織等を活用し、鳥取県情報の発信を行い、交流の活発化を図る。								
2 主な事業内容								
(1) 世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供等委託（800千円）：会員（国際交流員等で県内に滞在した外国人）へ鳥取県の情報を提供し、鳥取県をPRする。								
(2) (一財)自治体国際化協会の分担金（6,000千円）：海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担する。								
(3) 海外県人会助成事業（1,435千円）（補助率10/10）：海外の3つの県人会の活動に助成する。								
(4) 青少年国際協力支援事業（400千円）（補助率10/10）：青年海外協力隊鳥取県OV会が開催する帰国報告会の開催等に助成を行う。								
(5) 標準事務費（30,527千円）								
3 これまでの取組状況、改善点								
各県人会総会へ出席し、鳥取県の情報発信を行い、ふるさと納税などへの協力を依頼している。また、県人会、ファンクラブ各会員、海外サポーターには口コミやSNS等で鳥取県の情報を広くPRしていただいている。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7108）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
パスポート発給事務費	31,145	28,701	2,444			(手数料) 20,000	11,145	
トータルコスト	45,446千円（前年度 43,007千円） [正職員：1.8人]							
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等							
工程表の政策目標(指標)	円滑な旅券発給と窓口対応の向上、各種情報（渡航情報等）のタイムリーな提供を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 旅券法に基づく法定受託事務である旅券の申請受理、作成及び交付に関する事務を、一部民間に委託して実施する。</p> <p>2 主な事業内容 県庁・中部総合事務所・西部総合事務所及び権限移譲をしている倉吉市役所・境港市役所・日南町役場・日野町役場・江府町役場の8箇所にて窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び交付を行う。 〔平成29年度9月補正において債務負担行為設定（平成30～34年度）〕</p> <p>○委託業務の概要 ①委託対象業務 ・電話案内、申請・交付窓口業務（県庁・中部総合事務所・西部総合事務所） ・旅券作成業務（全窓口分） ②委託期間：平成30年4月1日から5年間（平成30～34年度） ※参考：委託対象外業務 旅券作成の最終審査業務及び慎重かつ迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務（判断困難事案、緊急発給事案、不正取得防止対応）等</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 窓口従事者の研修等により住民利便の向上を図った。</p>								
鳥取県国際関係調整費	12,460	14,982	△2,522				12,460	
トータルコスト	28,350千円（前年度 30,878千円） [正職員：2.0人]							
主な業務内容	各国からの訪問に係る関係機関・関係部署等との連絡調整、受入資料の作成、訪問団等の受入、課内外の業務の連絡調整、課内業務の総括等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 北東アジア地域等への各種訪問団派遣及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するための事務的経費である。</p> <p>2 これまでの取組状況、改善点 予算計上のない臨時的な交流事業に対しても、迅速かつ機動的に対応することができ、友好交流地域との更なる友好増進に寄与している。</p>								
職員人件費	127,998	134,501	△6,503				127,998	
事業内容の説明 一般職員18名分の人件費である。								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（終了）【震災復興支援】北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット開催事業	0	28,560	△28,560					
トータルコスト	0千円（前年度 40,482千円）							
事業内容の説明								
（終了）平成30年度はロシア沿海地方において開催することから、開催事業としては終了								
（終了）モンゴル中央 県友好交流20周年 記念事業	0	6,071	△6,071					
トータルコスト	0千円（前年度 10,045千円）							
事業内容の説明								
（終了）平成29年度単年度事業として実施したため								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが・アニメツーリズム推進事業	33,419	26,645	6,774				33,419	
トータルコスト	39,775千円(前年度33,003千円)[正職員:0.8人]							
主な業務内容	企画、連絡調整、展示会出展・運営、補助金審査・交付、委託契約事務							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 まんが・アニメを活かした本県の情報発信や国内外からの誘客を促進するため、本県ゆかりのまんが・アニメとタイアップしたプロモーションや県内周遊の仕組みづくりなどを行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 番組タイアップアニメ聖地化事業(13,000千円) アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の10年ぶりの放送が決定したことに伴い、この番組のスポンサーとなることで、鬼太郎の聖地としての本県の魅力を全国に発信する。 ○番組タイアップ:30秒CM1枠1ヶ月間 ○実施時期:平成30年7月を予定 【アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」(第6期)の概要】 ・放送開始:平成30年4月～ ・放送曜日・時間:日曜日9:00～9:30 ・ネット局:フジテレビ系列全国12局ネット ※番組内で境港と大山が舞台として登場する予定(調整中)</p> <p>(2) まんが王国とっとり満喫周遊バス発行事業(4,000千円) 県内のまんが関連・観光施設の入館料とスタンプラリーをセットにした周遊バスを発行し、JRエリアバスと合わせて販売することで、インバウンド観光を推進する。 ○対象国・地域:韓国・香港・台湾 ○実施時期:平成30年7月～12月 ○対象施設:水木しげる記念館、とっとり花回廊、青山剛昌ふるさと館、鳥取砂丘・砂の美術館、鳥取二十世紀記念館・なしっこ館、円形劇場くらよしフィギュアミュージアム ○バス価格:1,000円以内を予定</p> <p>(3) 海外プロモーション(8,269千円) 海外の集客イベントへの出展、海外大学との連携などにより、まんが王国とっとりならではの情報発信を行う。 ○香港ブックフェア(平成30年7月)への出展 ○台湾の大学・専門学校と連携した「まんが王国とっとり」の情報発信 ○関係団体と連携した海外(台湾、タイ等)のポップカルチャーイベントでのプロモーション</p> <p>(4) まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金(8,000千円) まんが・アニメの地域資源を活かして観光誘客の取組を行う市町村等を支援する。 ○対象 倉吉市(ひなピタ♪)、境港市(ゲゲゲの鬼太郎)、岩美町(Free!)、北栄町(名探偵コナン) ○補助率 1/2 上限額2,000千円</p> <p>(5) アニメツーリズム協会との連携(150千円) 「日本のアニメ聖地88」を選定した(一社)アニメツーリズム協会と協力し、国内外への情報発信や周遊促進を通じた観光誘客に取り組む。 ※「日本のアニメ聖地88」(平成29年8月発表)には本県から「水木しげるロード」(境港市)、「青山剛昌ふるさと館」(北栄町)、「ひなピタ♪」(倉吉市)の3箇所が選定された。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 ○県内のまんが・アニメの聖地をインバウンド観光推進に活かすため県内周遊の仕組みをつくる。 ○「ゲゲゲの鬼太郎」アニメ第6期開始の好機を活かして全国への情報発信を強化する。</p>								

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国とっとり 妖怪パワー発進事業	12,500	6,183	6,317				12,500	
トータルコスト	14,089千円(前年度 7,773千円)〔正職員:0.2人〕							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

故水木しげる先生の遺業をたたえ、妖怪パワーにより、本県の魅力の発信と観光誘客を推進する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内 容
水木しげる生誕祭開催事業	6,000	水木しげる先生のふるさとへの功績の顕彰・共有と観光誘客を図る催事を境港市と共同で開催する。 ・日時 平成31年3月9日(土)予定 ・会場 境港市ほか ・内容 アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の声優等によるトーク等
怪フォーラム開催	5,000	岩手県、徳島県とともに持ち回りで開催してきた「怪フォーラム」の次のステップとして、「妖怪先進県」を国内外に広く情報発信するフォーラムを3県で連携して開催する。 ・開催予定地 京都市または東京都 ・実施内容 妖怪大談義、各県妖怪文化・観光のPR 世界の妖怪との交流 など
(新)鬼太郎列車リニューアルイベント	500	鬼太郎列車のリニューアル(30年7月)に合わせて、関係機関等と連携して記念イベントを開催する。
水木しげる全国巡回展PR事業	1,000	県外で開催される故水木しげる先生の展覧会に鳥取県コーナーを設け、水木しげるロード等「先生のふるさと鳥取」をPRする。
合計	12,500	

3 これまでの取組状況、改善点

故水木しげる先生の作品は、幅広い年齢層の多くのファンに愛され、本県の情報発信と観光誘客における大切な財産である。

水木しげるロード及び水木しげる記念館の入込客数は、先生の死後、増加に転じたが、平成29年度は前年比減となっている。アニメの放映開始や水木しげるロードリニューアルの機会を捉えて復活させていく必要がある。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

1目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国コナンで誘客促進事業	19,032	20,436	△1,404				19,032	

トータルコスト 25,388千円(前年度 25,205千円) [正職員:0.8人]

主な業務内容 イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施

工程表の政策目標(指標) まんがを活かして国内外に情報発信する。
まんがを活かして国内外から誘客を図る。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

名探偵コナンの国内外での高い知名度を活かし、「鳥取=コナン」を発信することで本県への誘客を促進する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内 容
名探偵コナンまつり	8,305	「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」を開催する。(時期:8月)
鳥取砂丘コナン空港展示装飾拡充事業	10,000	空港一体化に合わせてコナン空港の愛称化にふさわしい展示装飾を追加する。
名探偵コナンイラスト列車運行	727	名探偵コナン列車を継続して2編成運行する。
合 計	19,032	

3 これまでの取組状況、改善点

- 本県出身の漫画家、青山剛昌氏の代表作「名探偵コナン」は連載開始から28年になり、単行本の総発行部数は2億部を超える超人気作品である。
- 平成29年度に開催した「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」では、全国のコナンファン2,000人が来場する盛況で、鳥取砂丘コナン空港の愛称化、名探偵コナン鳥取ミステリーツアーの実施などにより「鳥取=コナン」の認知度は高まりつつあり、平成29年度の青山剛昌ふるさと館入館者数は12万人(開館以来最多)を超える見込みとなった。
- この流れを維持し、取組を継続・強化することで一層の観光誘客を図る必要がある。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

1目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)世界が認めた漫画家・谷口ジロー顕彰事業	5,400	0	5,400			〈雑入〉 2,700	2,700	
トータルコスト	6,195千円(前年度 0千円)〔正職員:0.1人〕							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県出身の世界的な漫画家・谷口ジローさんの画業を「ふるさと鳥取」でふり返り、その魅力を改めて鳥取から発信するため、追悼展を開催する。

2 主な事業内容

- (1) 名称 原画展「描く人・谷口ジローの世界」
- (2) 会期 平成30年4月14日(土)～5月13日(日)
- (3) 会場 鳥取県立博物館 第3展示室
- (4) 内容 原画を中心に谷口ジローさんの画業をふり返る。
- (5) 入場料 無料

3 所要経費

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
平成29年度	1,620	企画設計費、広報費等
平成30年度	5,400	会場設営費、展示会運営費、展示品借用料
計	7,020	

3 これまでの取組状況、改善点

- 谷口ジロー氏には、水木しげる氏、青山剛昌氏とともに、まんが王国とつとりを支えていただいた。
- 特に谷口氏の作品はヨーロッパでの評価・人気が高く、海外で鳥取県を宣伝する場合、大きな力になってきた。
- 郷土の誇りとして、その偉大さを共有していくとともに谷口作品の魅力を発信していく必要がある。

平成30年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国発ソフト パワー事業	92,537	102,409	△9,872			3,596	88,941	
トータルコスト	132,262千円(前年度127,843千円)[正職員:5.0人、非常勤職員2.0人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施、市町村・民間との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
鳥取県の強みの一つであるまんがを活用した「まんが王国とっとり」の取組みを推進し、国内外に情報発信することで観光誘客につなげるとともに、取組を支える地域文化を醸成する。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
項目	予算額	内 容						
国際マンガコンテスト の開催	11,924	本県発の国際マンガコンテストを継続開催し、新たな人材の発掘・育成とともに、海外ネットワーク拡大を図る。 (1) 部門 1コマ漫画、4コマ漫画、ストーリー漫画 (2) 賞 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、U-15賞 (3) スケジュール ・作品募集(H30.4~9) ・入賞者発表(H30.12) ・表彰式・作品集発行(H31.2)						
国際声優コンテスト 「声優魂」鳥取大会の 開催	3,600	声優をめざす中高校生が夢を実現する機会として、全国規模のコンテストの地方大会を実施する。 ・予選:7月、本選:8月						
(新)高知県と連携した まんが王国広域周遊 促進	1,250	両県のまんが・アニメ・フィギュア施設を巡る広域周遊を促進するため海外メディアを招へいし、情報発信。 (ピジットジャパン地方連携事業(観光庁)に応募)						
まんが王国とっとり プロデュース会議	382	外部専門家からまんが王国と通りの取組に対して助言を求める。						
(新)まんが王国活動 推進コーディネーター 派遣	568	まんがを活用した地域の取組内容を改善し民間主導の活動活性化を図るため、有識者を派遣する。						
まんが王国活動支援補 助金	27,000	市町村・民間団体が取り組むまんがを活用した事業を支援する。 ○地域拠点形成事業 10,000千円 補助率 1/2 限度額 5,000千円 採択団体数 2 ○まんがを活用した地域活性化事業 17,000千円 <特定事業> 第7次米子映画事業 限度額 10,000千円 フィギュアミュージアム発信 限度額 2,000千円 <公募事業> 補助率 1/2 限度額 1,000千円 採択団体数 5						

(新) ジャポニスム 2018自治体参加企画出 展	7,168	「ジャポニスム2018」(日仏友好160周年記念としてフ ランスで政府が開催する大規模文化行事)の「自治体参 加企画」においてまんが王国とつとりと本県の文化を 発信し、誘客を図る。 ・「日本文化会館」(パリ)での展示・体験企画に参画 ・(独)国際交流基金を通じた1/2支援を予定
情報発信	25,867	・「まんが王国とつとり通信」の発行 A3判・年4回・11,800部 ・著作物使用料 ・着ぐるみPR活動 ・情報発信 ・国際マンガサミット事務局との連携 ・日本マンガ学会との連携
非常勤職員人件費	5,096	非常勤職員2名
事務費	9,682	事務用品購入、通信運搬等に要する経費
合 計	92,537	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・「まんが王国とつとり」の取組により、県・市町村・民間が一体となった多様な催事展開、PR活動や、県内の2空港をいずれも世界に例のないまんが名(鬼太郎・コナン)の空港とするなど独自の取組により国内外で認知が進み、観光誘客が図られている。
- ・外部有識者の提案・意見も踏まえながら、「まんが王国とつとり」の取組を進めていく。

(終了) 鳥取砂丘コ ナン空港展示装飾拡 充事業	0	5,898	0					
トータルコスト	0千円(前年度 7,488千円) [正職員: 0.2人]							
事業内容の説明								
(終了)「まんが王国コナンで誘客促進事業」に統合して実施する。								

平成30年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

款 項 目 節	2款 総務費						7款 商工費		
	うち観光交流局						うち観光交流局		
	2項 企画費						1項 商業費		
			1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費				
1 報 酬	533,595	55,865	55,865	55,784	81		84,743	14,144	
2 給 料	2,962,024	68,868	68,868	68,868			382,600	133,910	
3 職員手当等	3,953,733	34,686	34,686	34,686			192,700	67,445	
4 共 済 費	1,124,956	33,426	33,426	33,426			172,536	49,735	
5 災 害 補 償 費	500								
6 恩給及び退職年金	10,601								
7 賃 金	20,316								
8 報 償 費	239,616	2,407	2,407	2,407			411,135	3,630	
9 旅 費	231,689	32,510	32,510	32,260		250	71,248	27,048	
費用弁償	20,618	15,992	15,992	15,742		250	13,350	2,740	
普通旅費	165,644	3,863	3,863	3,863			43,974	3,429	
特別旅費	45,427	12,655	12,655	12,655			13,924	20,879	
10 交 際 費	2,800						200	100	
11 需 用 費	609,919	9,737	9,737	9,737			55,162	26,798	
食糧費	24,600	5,254	5,254	5,254			12,837	5,049	
その他の需用費	585,319	4,483	4,483	4,483			42,325	21,749	
12 役 務 費	559,289	10,369	10,369	10,369			52,209	20,342	
13 委 託 料	4,605,904	288,306	288,306	76,658	120,786	90,862	770,720	391,115	
14 使用料及び賃借料	809,105	18,168	18,168	18,168			154,775	41,912	
15 工 事 請 負 費	1,019,983						93,424	93,424	
16 原 材 料 費									
17 公有財産購入費									
18 備 品 購 入 費	322,670						3,100		
19 負担金、補助及び交付金	8,587,786	306,436	306,436	81,332		225,104	10,998,925	749,284	
20 扶 助 費									
21 貸 付 金							2,975,468	9,988	9,988
22 補償、補填及び賠償金	1,800								
23 償還金、利子及び割引料	170,200						131,218		
24 投資及び出資金							1,500		
25 積 立 金	109,211								
26 寄 付 金									
27 公 課 費	278								
28 繰 出 金							8,662		
予 備 費									
計	25,875,975	860,778	860,778	423,695	120,867	316,216	16,560,325	1,628,875	9,988
財 源									
内 庫 庫 支 出 金	1,796,458	22,350	22,350	8,000		14,350	253,192	149,953	
地 方 債	1,720,000						2,576,000	58,000	
そ の 他	2,397,219	46,137	46,137	46,137			841,224	200,279	9,988
一 般 財 源	19,962,298	792,291	792,291	369,558	120,867	301,866	12,889,909	1,220,643	

平成30年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

款 項 目 節	7款 商工費			観光交流局
	うち観光交流局			合 計
	1項 商業費	3項 観光費		
	3目 金融対策費	1目 観光費		
1 報 酬		14,144	14,144	70,009
2 給 料		133,910	133,910	202,778
3 職員手当等		67,445	67,445	102,131
4 共 済 費		49,735	49,735	83,161
5 災 害 補 償 費				
6 恩給及び退職年金				
7 賞 金				
8 報 償 費		3,630	3,630	6,037
9 旅 費		27,048	27,048	59,558
費用弁償		2,740	2,740	18,732
普通旅費		3,429	3,429	7,292
特別旅費		20,879	20,879	33,534
10 交 際 費		100	100	100
11 需 用 費		26,798	26,798	36,535
食糧費		5,049	5,049	10,303
その他の需用費		21,749	21,749	26,232
12 役 務 費		20,342	20,342	30,711
13 委 託 料		391,115	391,115	679,421
14 使用料及び賃借料		41,912	41,912	60,080
15 工 事 請 負 費		93,424	93,424	93,424
16 原 材 料 費				
17 公有財産購入費				
18 備 品 購 入 費				
19 負担金、補助及び交付金		749,284	749,284	1,055,720
20 扶 助 費				
21 貸 付 金	9,988			9,988
22 補償、補填及び賠償金				
23 償還金、利子及び割引料				
24 投資及び出資金				
25 積 立 金				
26 寄 付 金				
27 公 課 費				
28 繰 出 金				
予 備 費				
計	9,988	1,618,887	1,618,887	2,489,653
財 源				
内 庫 支 出 金		149,953	149,953	172,303
地 方 債		58,000	58,000	58,000
そ の 他	9,988	190,291	190,291	246,416
一 般 財 源		1,220,643	1,220,643	2,012,934

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
1 目	企画総務費	
給料	一般職員	18人
報酬	国際交流員	15人
負担金、補助 及び交付金	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	200
	吉林省青少年交流事業負担金	567
	モンゴル留学生支援補助金	2,239
	モンゴル農業研修員生活支援補助金	224
	自治体国際化協会負担金	1,656
	鳥取県国際交流財団助成事業費補助金	68,146
	国際交流拠点整備費負担金	6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,400
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400
	国内交流補助金	500
2 目	計画調査費	
報酬	指定管理候補者選定評価委員	4人
3 目	交通対策費	
負担金、補助 及び交付金	「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金	8,000
	米子-香港国際定期便に係る運航経費補助金	70,000
	国際定期便利用促進協議会負担金	10,000
	米子香港便交流創出支援事業補助金	200
	米子発香港乗継利用促進事業補助金	180
	米子-ソウル国際定期便に係る運行経費補助金	73,500
	但馬版キッズエアサポート事業負担金	500
	山陰地域の他空港と連携した誘客促進事業補助金	2,000
	空港利用促進懇話会負担金	30,095
	航空エアサポート支援負担金	12,000
	全国地域航空システム推進協議会負担金	129
	鳥取砂丘コナン空港早朝便おもてなし支援事業補助金	500
	鳥取空港ならではの体験メニュー開発支援補助金	600
	鳥取砂丘コナン空港圏域二次交通整備支援事業補助金	8,100
	空港レンタカー助成事業負担金	9,300
7 款	商工費	
1 項	商業費	
3 目	金融対策費	
貸付金	観光開発促進資金貸付金	9,988
3 項	観光費	
1 目	観光費	
給料	一般職員	35人
報酬	鳥取県観光振興指針検討委員	5人
	国際マンガコンテスト審査員	10人
	非常勤職員	7人
負担金、補助 及び交付金	(公社)日本観光振興協会負担金	718
	(公社)日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700
	(公社)日本観光振興協会中国支部負担金	120
	(公社)日本観光振興協会観光情報システム分担金	200
	中国地域観光推進協議会負担金	50
	山陰観光連盟負担金	324
	(一社)日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	27,400
	コンベンション開催助成費補助金	21,350
	(公社)鳥取県観光連盟運営費負担金	95,271
	ニューツーリズム普及促進支援補助金	6,500

節 の 明 細

項	目	金額(千円)等
7款	商工費	
3項	観光費	
1目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	教育旅行誘致推進事業補助金	2,250
	体験型教育旅行誘致促進業務補助金	5,739
	温泉地魅力向上事業負担金(いなば温泉郷協議会)	1,310
	温泉地魅力向上事業負担金(皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会)	6,000
	着地型観光・体験情報発信事業補助金	3,132
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(バス旅行商品支援)	40,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(旅行商品造成支援)	7,500
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(観光パスポート作成支援)	2,000
	因幡・但馬・丹後広域観光協議会負担金	500
	鳥取・岡山広域観光協議会負担金	2,000
	「ディスカバーウェスト」連携協議会負担金	5,000
	鳥取自動車道活性化協議会負担金	900
	NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	420
	JAFと連携した観光キャンペーン連携事業負担金	594
	鳥取県観光二次交通運行支援補助金	23,111
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	16,600
	イルミネーション支援補助金	7,500
	クルーズ客船受入推進事業補助金	1,900
	鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金	15,000
	山陰デスティネーションキャンペーン協議会負担金	17,000
	米子駅外国人観光案内所運営事業補助金	2,074
	鳥取県外国人観光客送客促進事業補助金	27,920
	鳥取県外国人観光客誘致対策事業補助金	15,000
	国際定期便利用促進協議会負担金	1,100
	伸びるASEAN誘客事業(鳥取・岡山VJ事業)負担金	2,000
	台湾市場誘客事業(ピジットジャパン・地方連携事業)負担金	1,000
	中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	4,300
	中国地方インバウンドフォーラム負担金	2,000
	京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000
	関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800
	東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,400
	国際観光振興機構負担金	660
	東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	820
	山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500
	JR西日本連携事業負担金	2,000
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	1,000
	(一社)山陰インバウンド機構運営事業負担金	100,000
	サイクルトレイン・サイクルバス普及推進事業補助金	500
	中国知事会サイクリング部会負担金	1,000
	鳥鉄の旅魅力造成支援補助金	5,000
	観光列車整備負担金	10,000
	観光列車初便運行歓迎イベント開催補助金	1,500
	東浜周辺整備負担金	1,267
	ニューツーリズム普及促進支援補助金(星取県推進型)	5,400
	(一社)アニメツーリズム協会負担金	150
	まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金	8,000
	まんが王国活動支援補助金	27,000
	国際マンガサミット参加負担金	100
	日本マンガ学会負担金	10
	ウォーキングコース旅行商品化支援事業補助金	5,500
	SUN-IN未来ウオーク開催支援事業補助金	1,800

節 の 明 細

項	目	金額(千円)等
7款	商工費	
3項	観光費	
1目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	鳥取県櫻杯争奪相撲選手権大会支援補助金	400
	フラダンス全国大会開催支援事業補助金	3,000
	鳥取中部圏域広域観光連携推進事業補助金	15,000
	鳥取中部ふるさと広域連合への県職員駐在に係る庁舎負担金	80
	SUN-IN未来100kmウオーク開催支援補助金	1,000
	大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500
	湯ったりだいせん足湯整備費補助金	193
	参道拠点整備事業補助金	3,638
	エコツーリズム推進事業補助金	2,800
	山陰地域通訳案内士活用事業補助金	750
	全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000
	皆生・大山SEA TO SUMMIT開催事業補助金	1,000
	鳥取県体育施設協会負担金	11
	伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会負担金	118,357
	大山山麓観光推進協議会負担金	25,000
	伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典等実行委員会負担金	26,565
	大山山麓で楽しむ「スポーツツーリズム」推進事業補助金	1,000
	大山開山1300年祭記念サイクリング大会支援事業補助金	1,000
	日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	1,050

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳				
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	国庫支出金 千円	特 定 財 源	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
平成30年度 鳥取県立夢みなとタワー指定管 理料	千円 622,895			平成31年度から 平成35年度まで	千円 622,895					千円 622,895
平成30年度 ユニバーサル情報共有アプリ情 報発信委託	1,728			平成31年度から 平成32年度まで	1,728				1,728	
平成30年度 ユニバーサル事例創出支援事 業委託	3,888			平成31年 度	3,888				3,888	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額 千円	前年度末までの支出(見込)額 千円		当該年度以降の支出予定額 千円		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	国庫支出金 千円	特 定 財 源 地方債 千円	そ の 他 千円	一 般 財 源 千円
平成22年度 足湯整備費補助	2,025	平成23年度から 平成29年度まで	1,351	平成30年度から 平成31年度まで	386				386
平成28年度 参道にぎわい活性化支援事業補 助	36,380	平 成 2 9 年 度	3,638	平成30年度から 平成38年度まで	32,742				32,742
平成28年度 特別寝台列車誘致事業補助	13,928	平 成 2 9 年 度	1,267	平成30年度から 平成39年度まで	12,661				12,661
平成29年度 パスポート発給業務委託	155,725			平成30年度から 平成34年度まで	155,725			100,000	55,725